

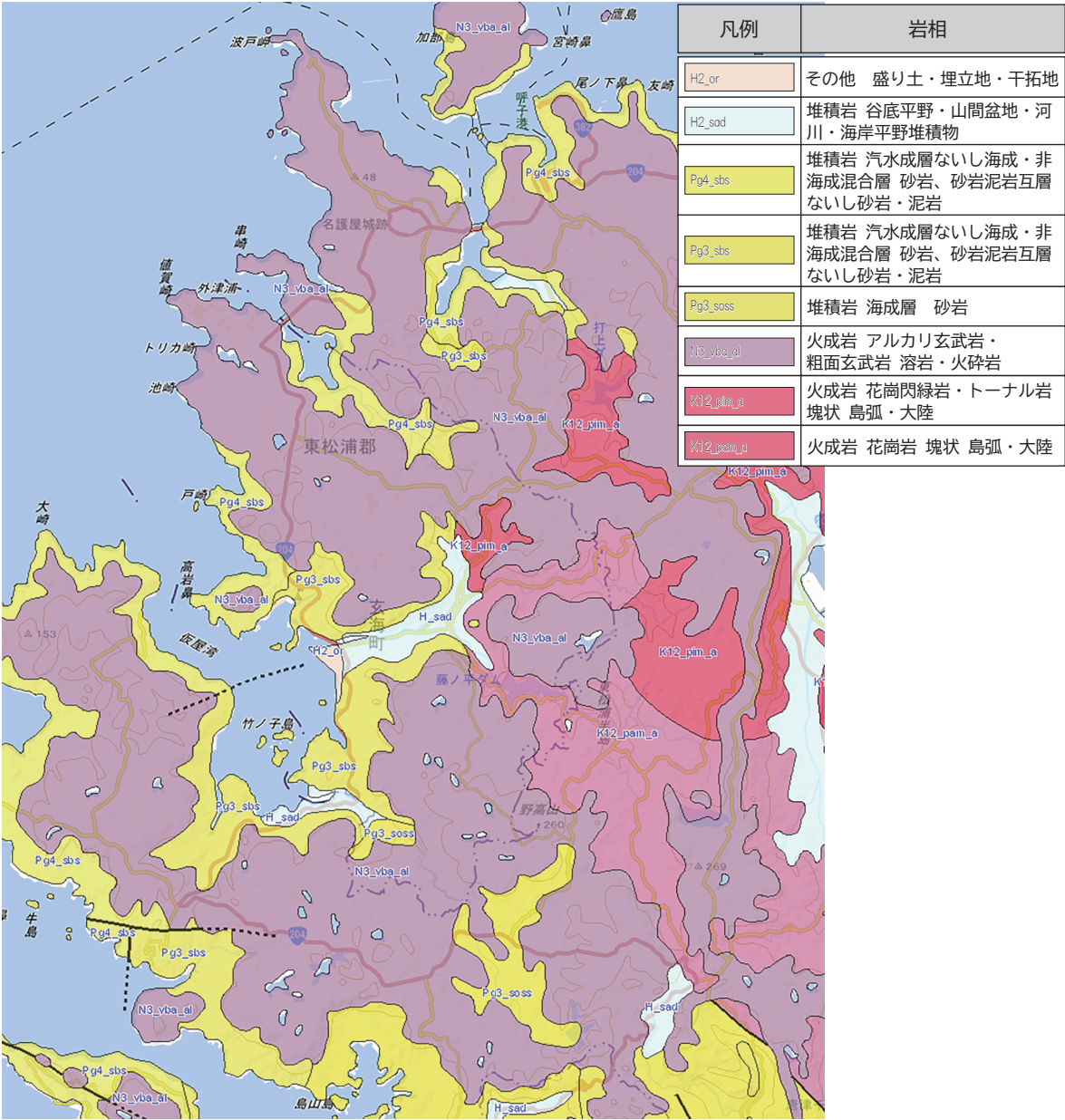


図1-1 地質

(出典：20 万分の1 シームレス地質図 V2、産総研地質調査総合センター) 年平均気温及び年間降水量

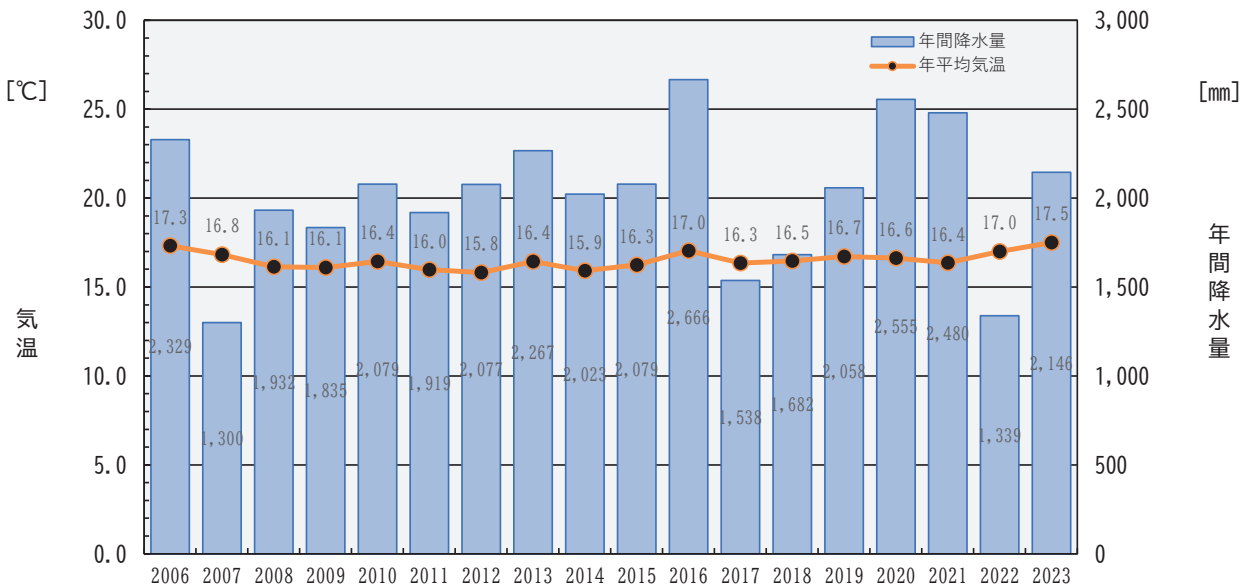


図 1-2 年平均気温及び年間降水量
(出典：町気象観測データ)

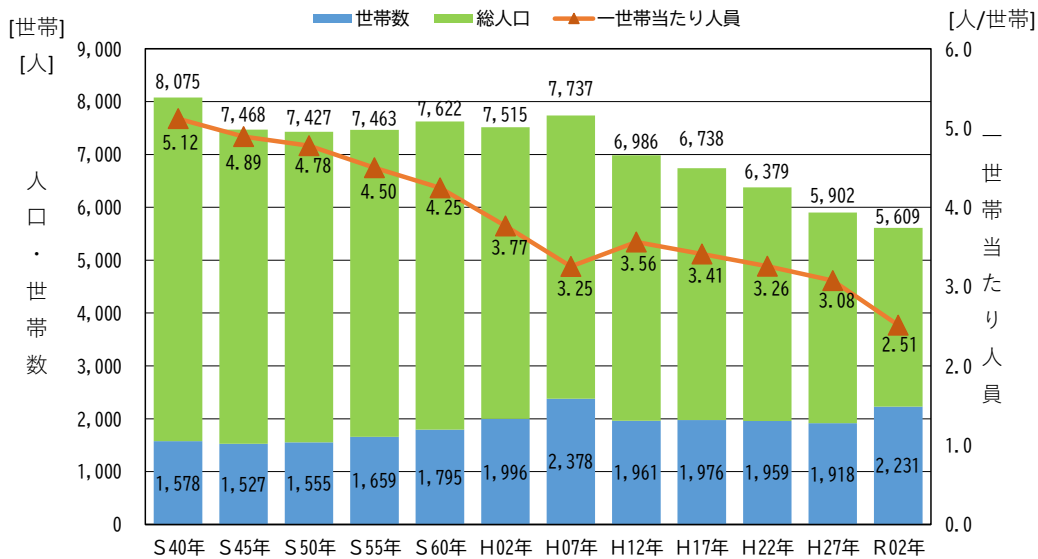


図 1-3 人口・世帯数・一世帯当たりの人員
(出典：国勢調査)

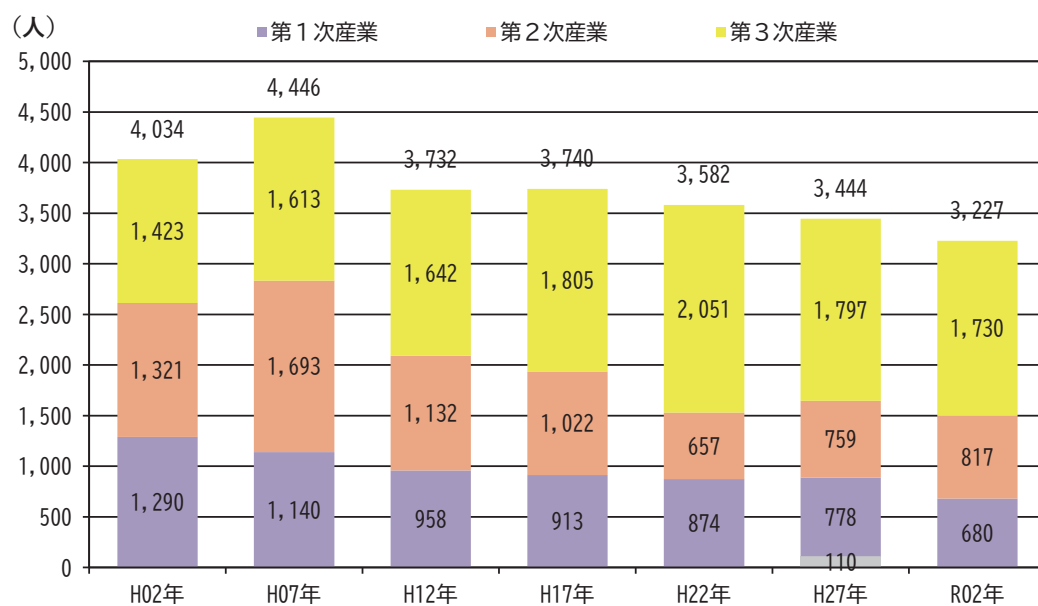


図 1-4 産業別就業者数

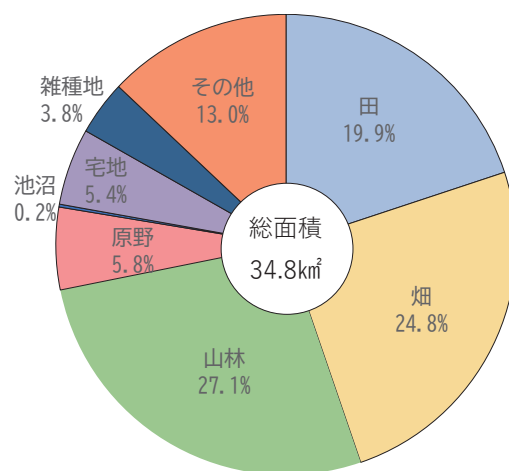


図 1-5 地目別土地利用面積の構成



玄海町役場前の状況



旧有浦小学校付近の状況

図1-6 平成2(1990)年7月大雨の状況



旧有浦小学校体育館前の状況



学校橋より下流の状況

図1-7 平成22(2020)年7月大雨の状況



みどり児童館付近の状況



新田付近の状況

図1-8 令和3(2021)年8月大雨の状況



役場前付近の状況



若宮八幡宮付近の状況

図 1-9 令和 5(2023) 年 9 月大雨の状況

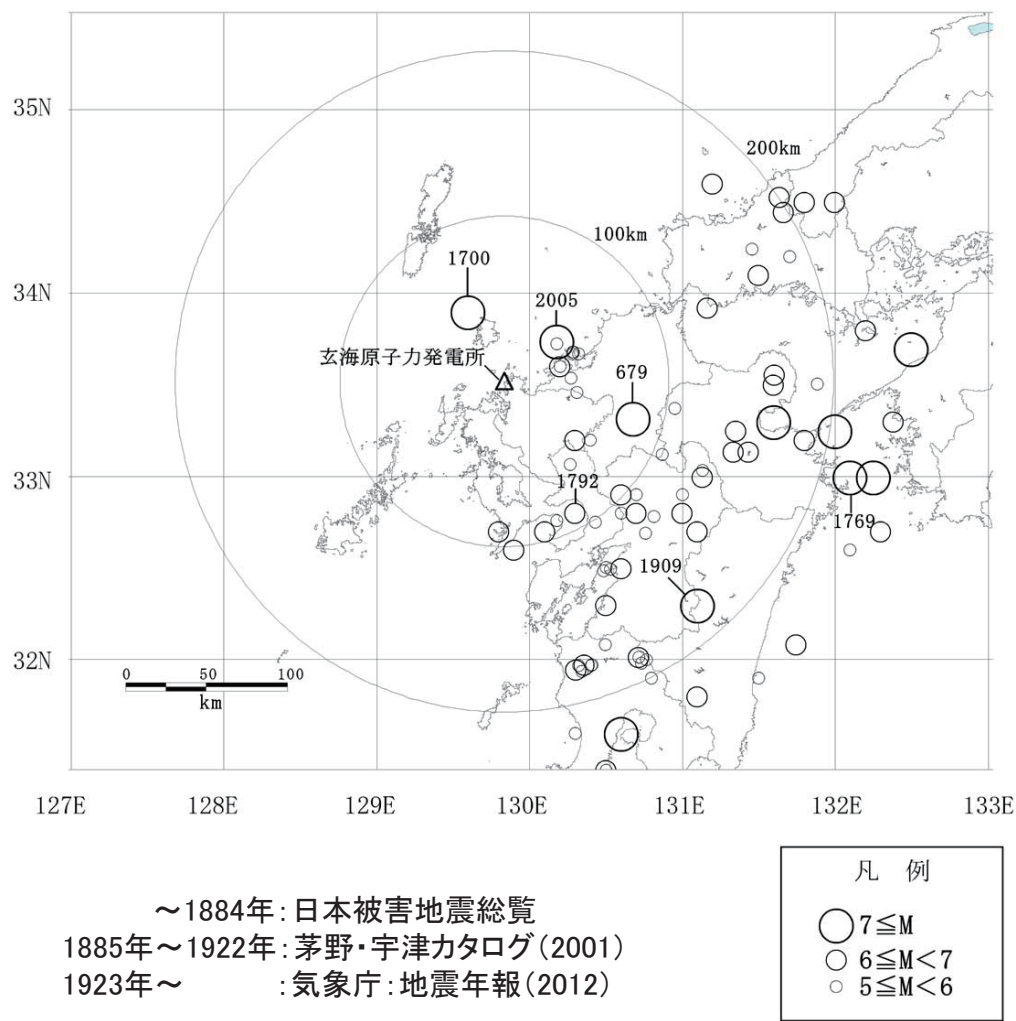


図 1-10 玄海原子力発電所敷地周辺の被害地震の震央分布

(出典：玄海原子力発電所基準地震動について 平成 29(2017) 年 1 月 19 日 九州電力株式会社)

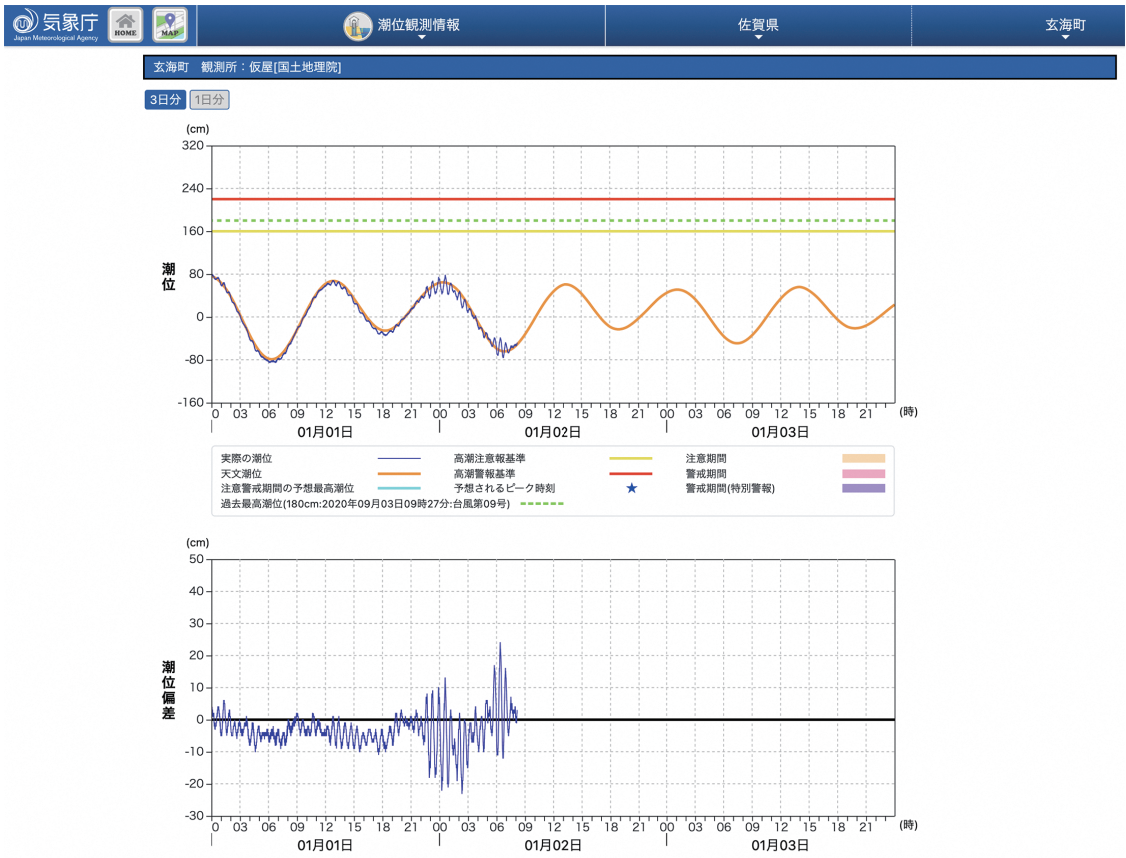
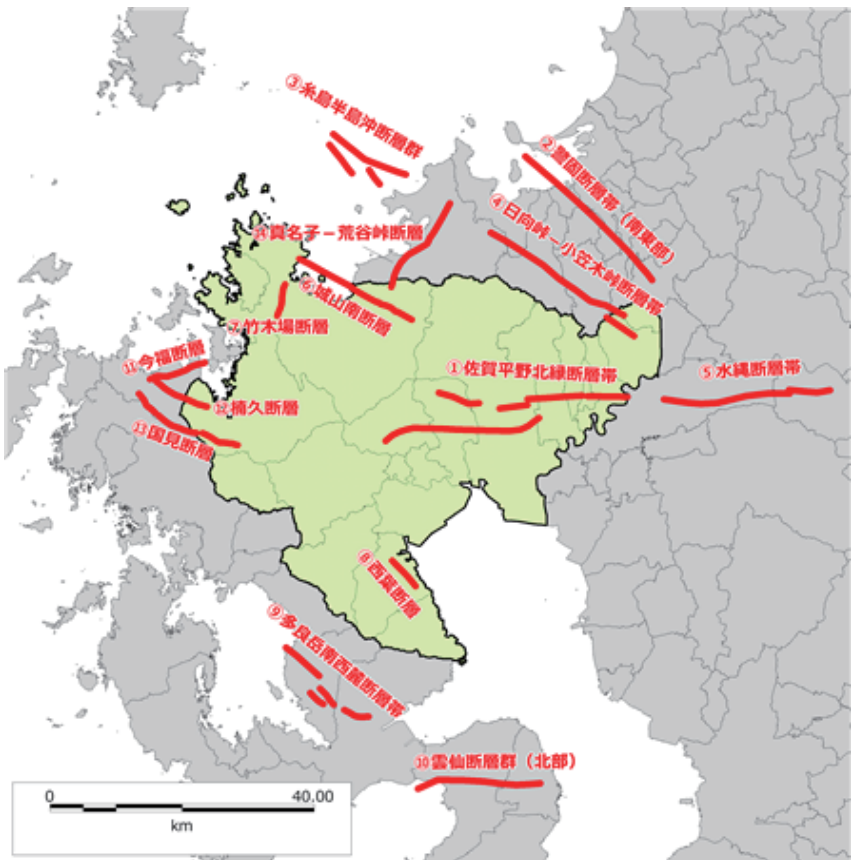


図 1-11 仮屋潮位観測所の潮位観測情報

(出典：気象庁潮位観測情報ホームページ)



対象断層名	断層長さ	マグニチュード
⑥城山南断層	19km	7.0
⑦竹木場断層	5km	6.9

図 1-12 対象地震の竹木場断層と城山南断層の位置と規模

(出典：民間団体による検討について 九州電力レポート 新耐震指針に照らした耐震安全性評価のうち基準地震動 S_s の策定について (平成 21 年 3 月 25 日))

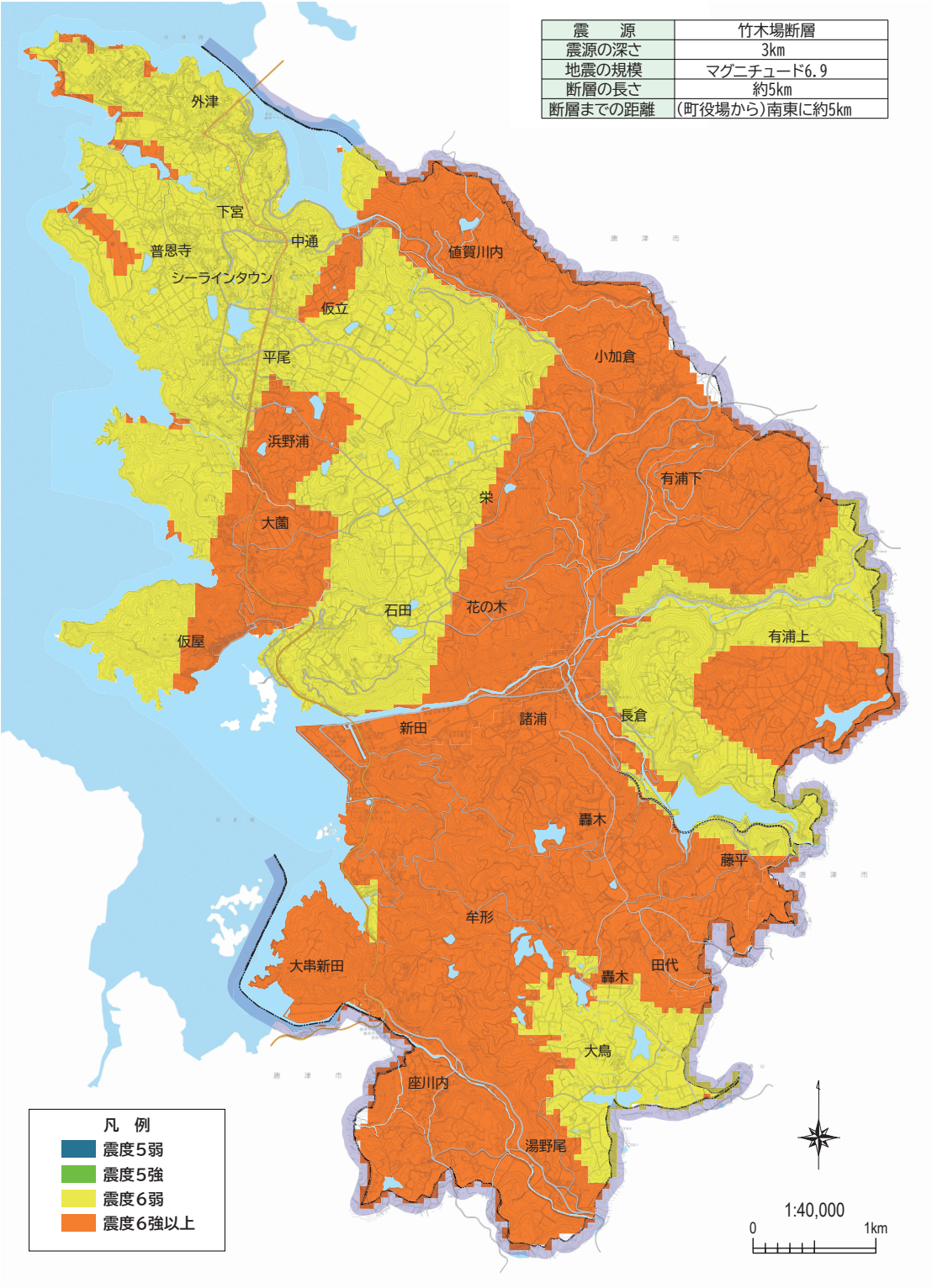


図 1-13 揺れやすさマップ（計測震度の分布）

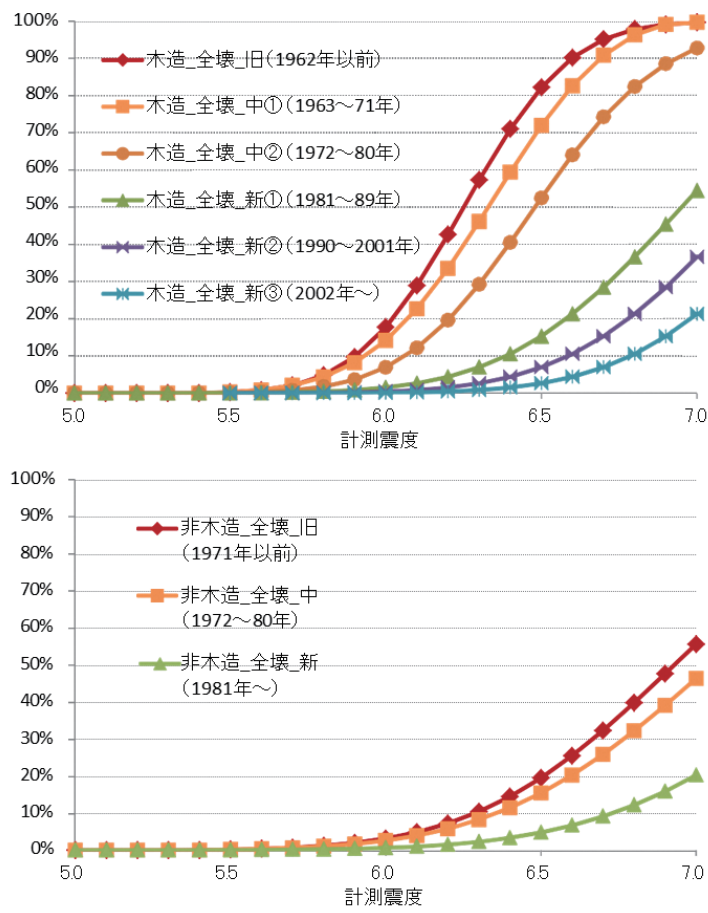


図 1-15 木造家屋及び非木造家屋における計測震度と建物全壊率の関係
(出典：東南海・南海地震防災対策に関する調査報告書(2004) 内閣府)

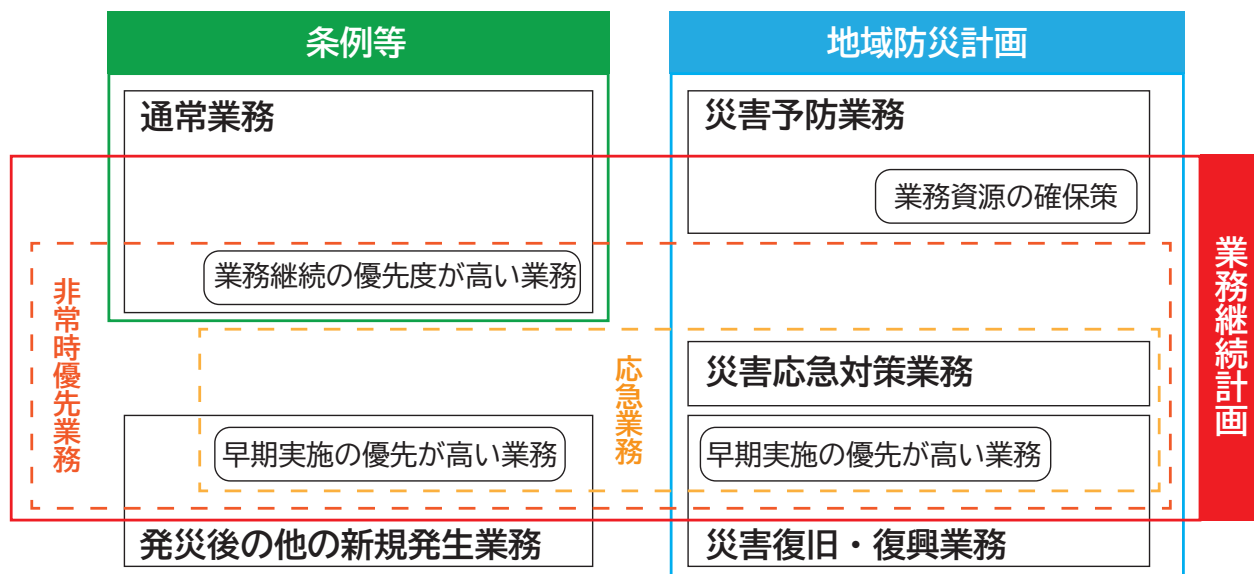
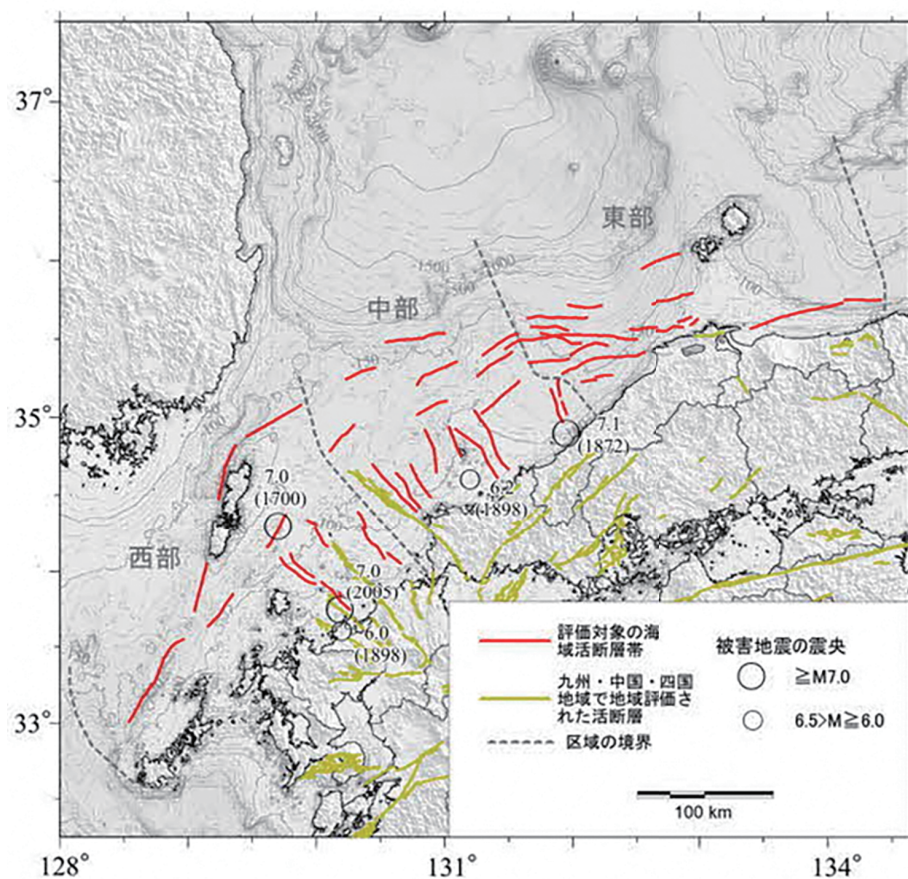


図 1-17 常時優先業務の概念

第2章 各災害に共通する対策編_図

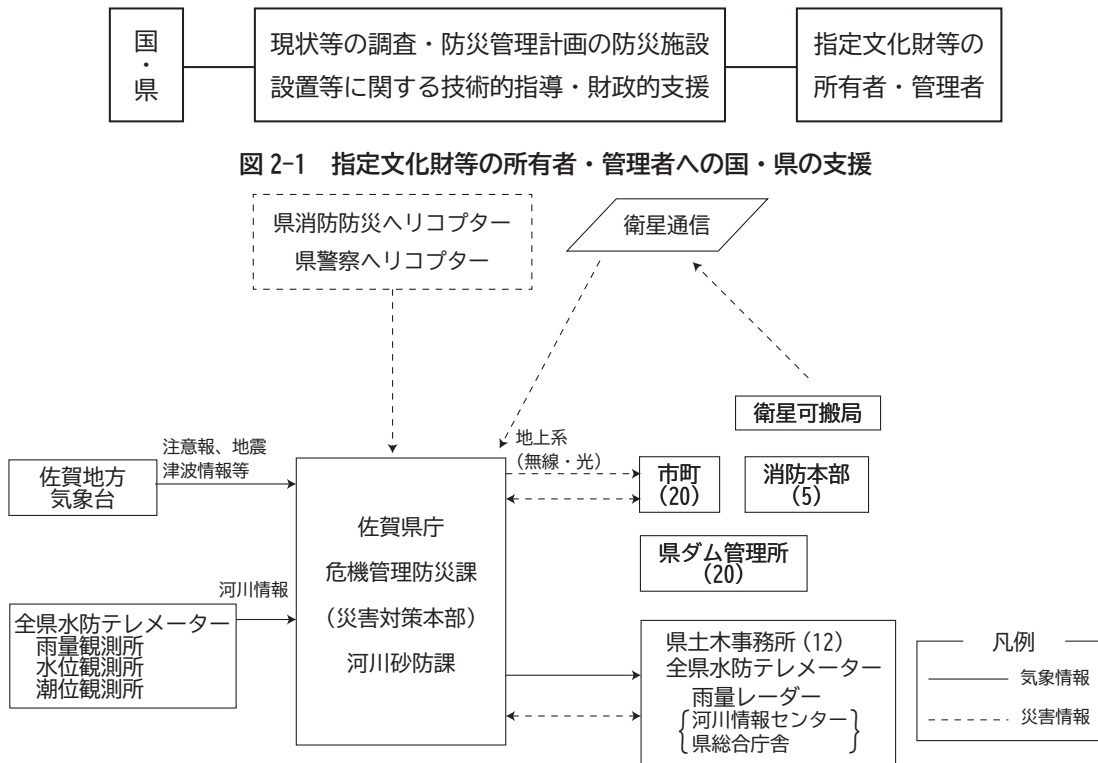


図 2-2 県防災情報システムの防災情報連絡系

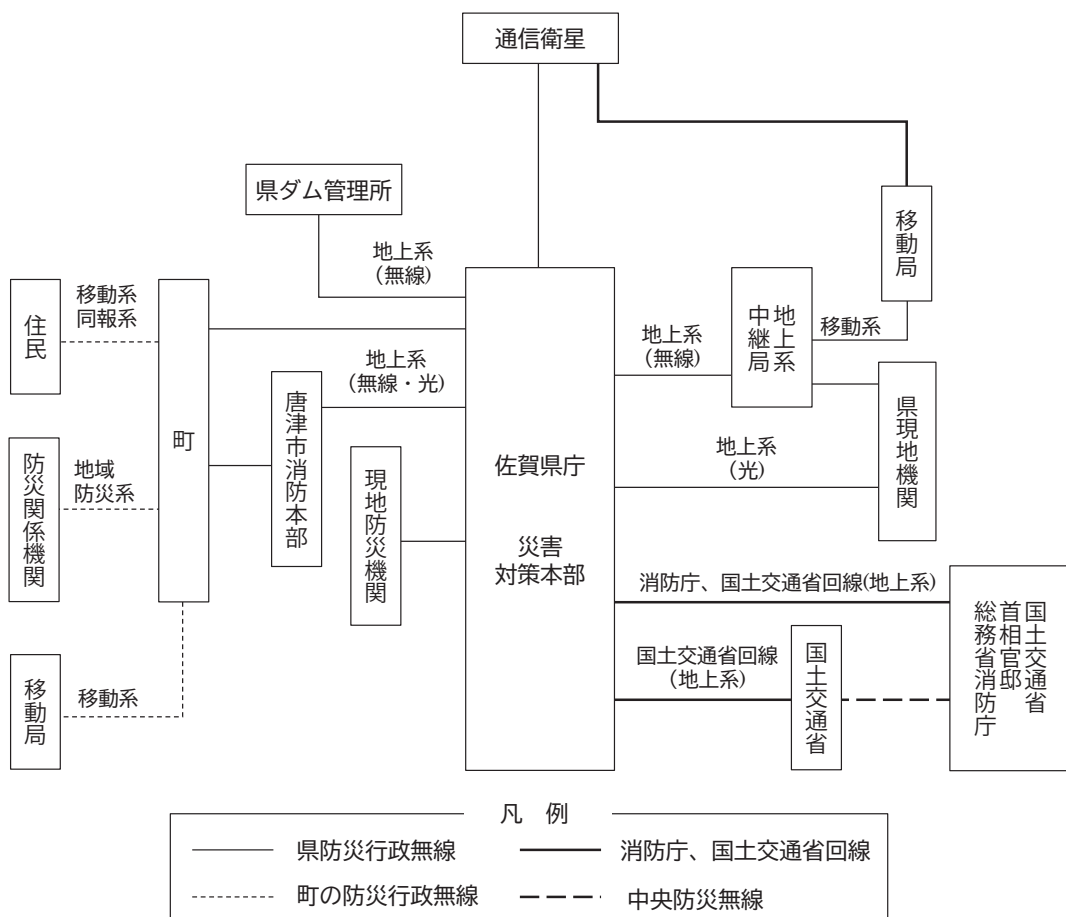


図 2-3 県防災行政通信施設の通信系統

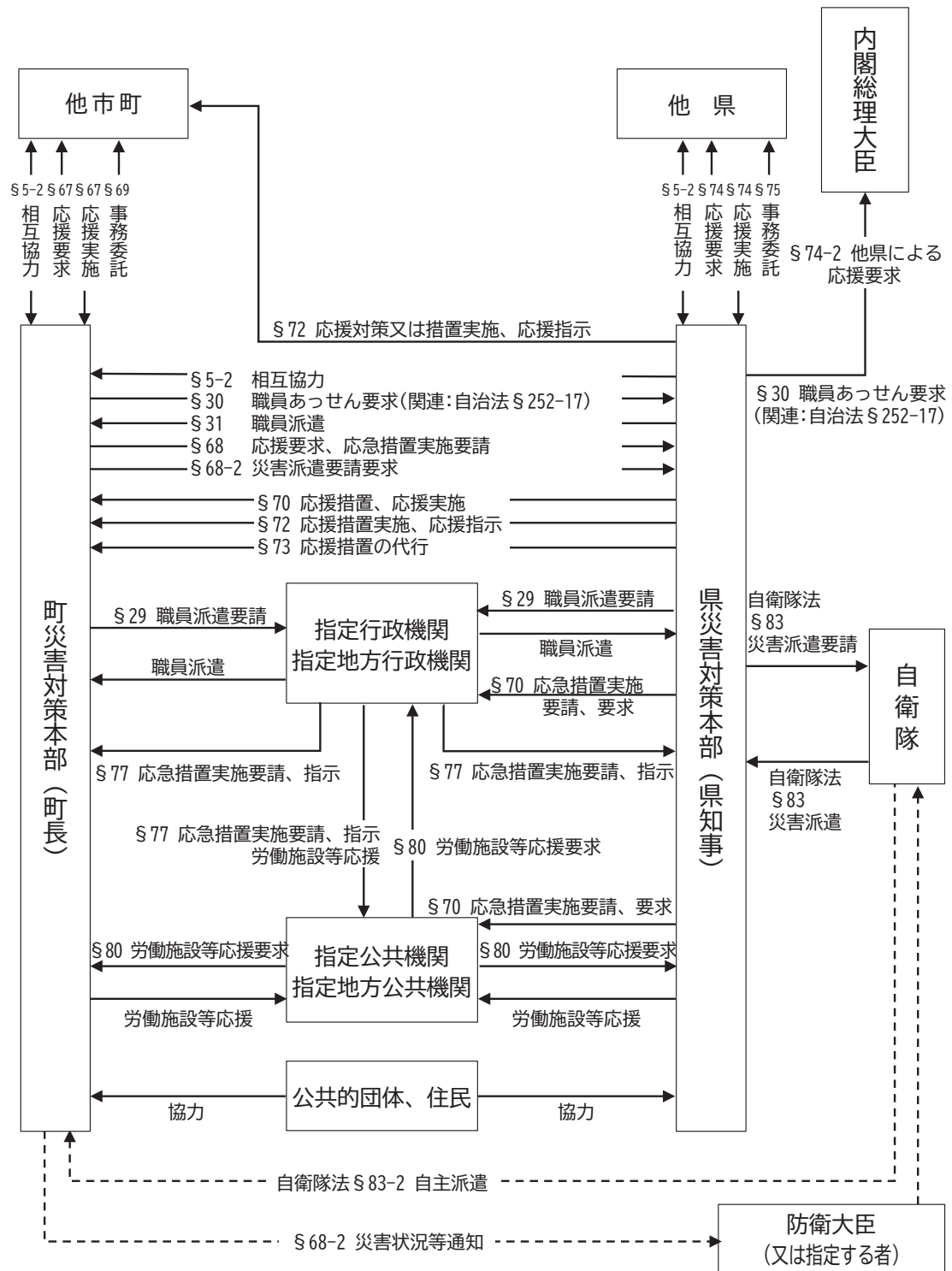


図2-4 広域応援の体系

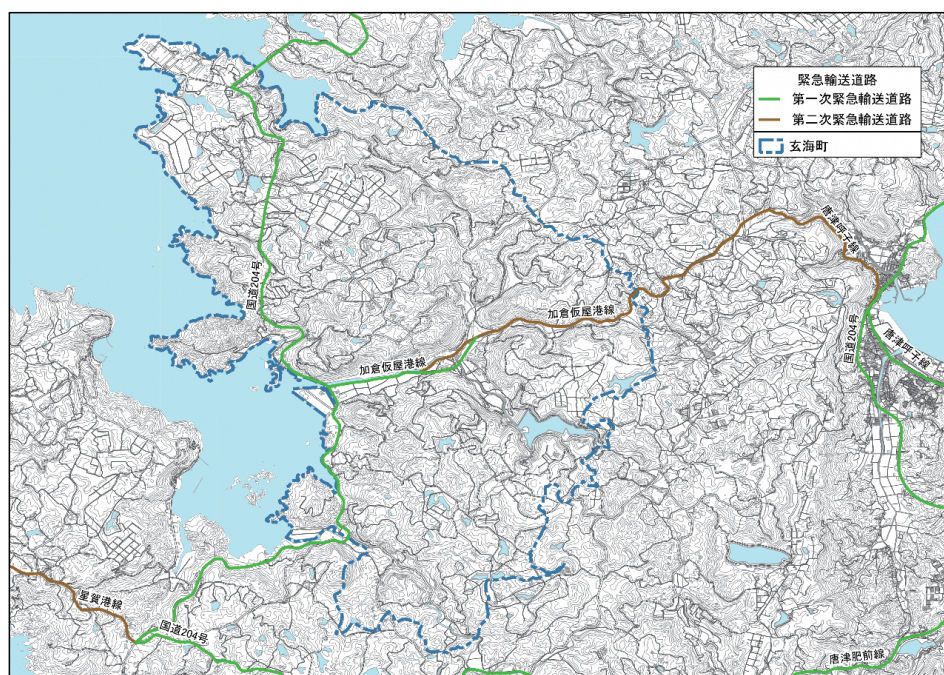


圖 2-5 緊急輸送道路網

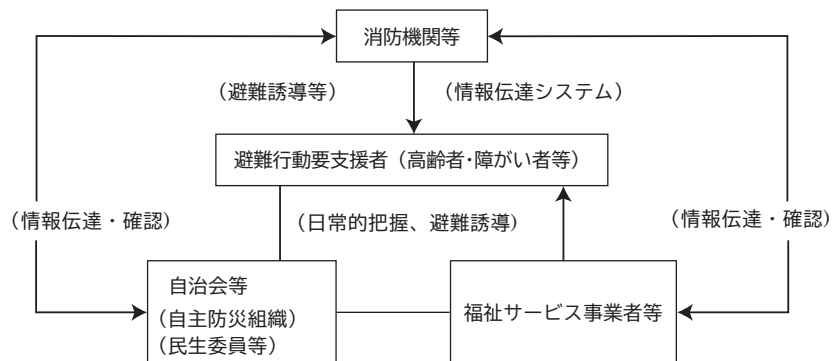


図 2-6 地域安心システム

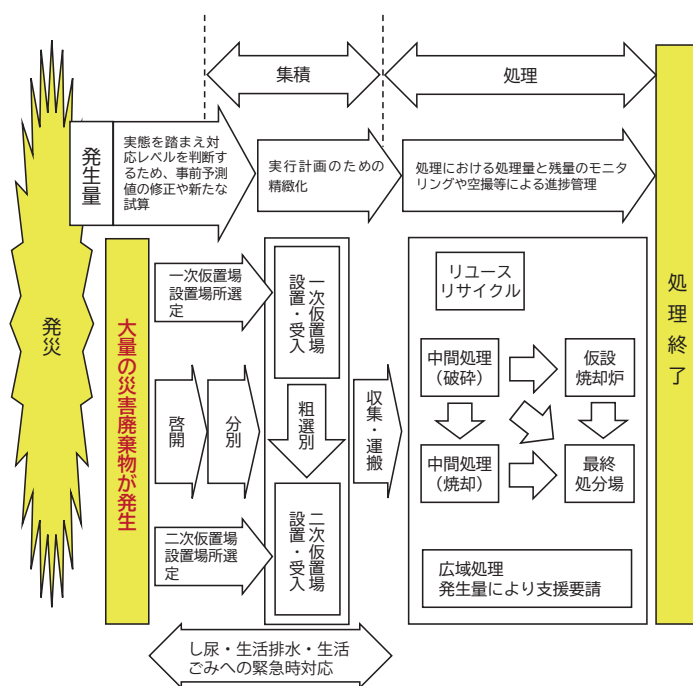


図 2-7 基本的な災害廃棄物処理

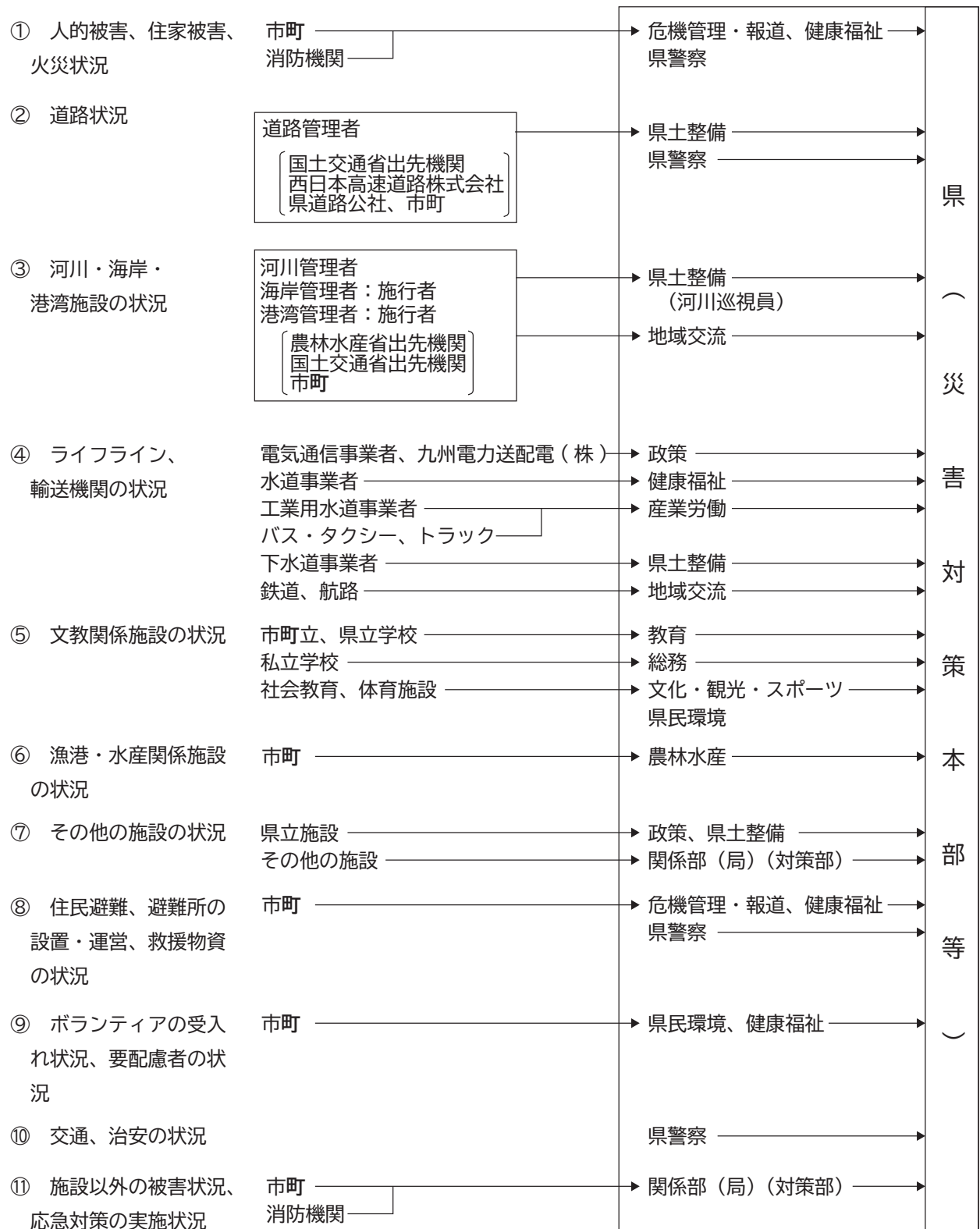


図 2-8 県の災害情報の情報収集・連絡系統

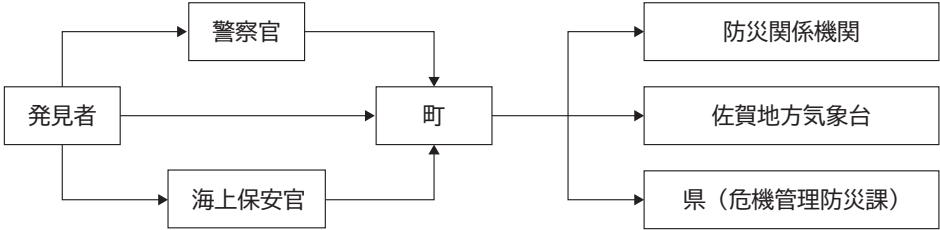
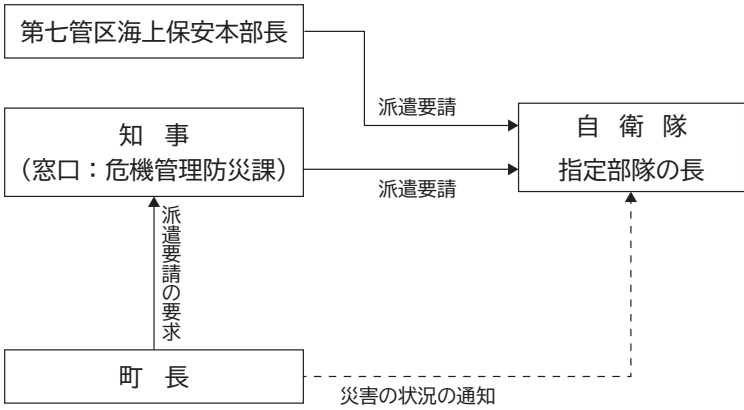


図 2-9 異常現象発見時の通報系統



注）----- は、知事に対して派遣要請の要求を行った場合、又は派遣要請の要求ができない場合に行うことができる。

図 2-10 自衛隊の災害派遣の要請系統

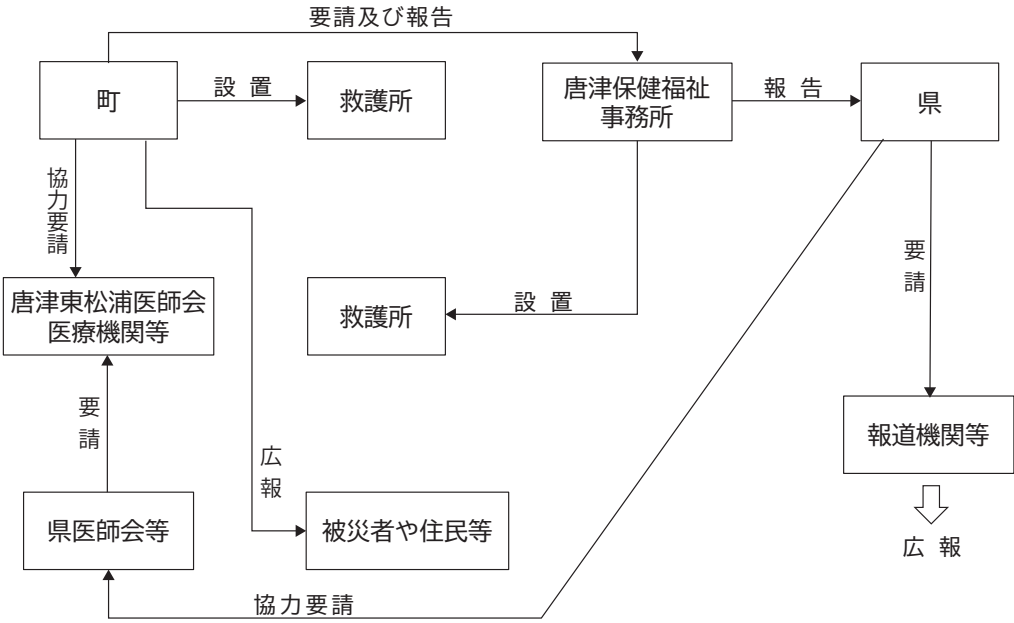


図 2-11 救護所設置の要請及び報告系統

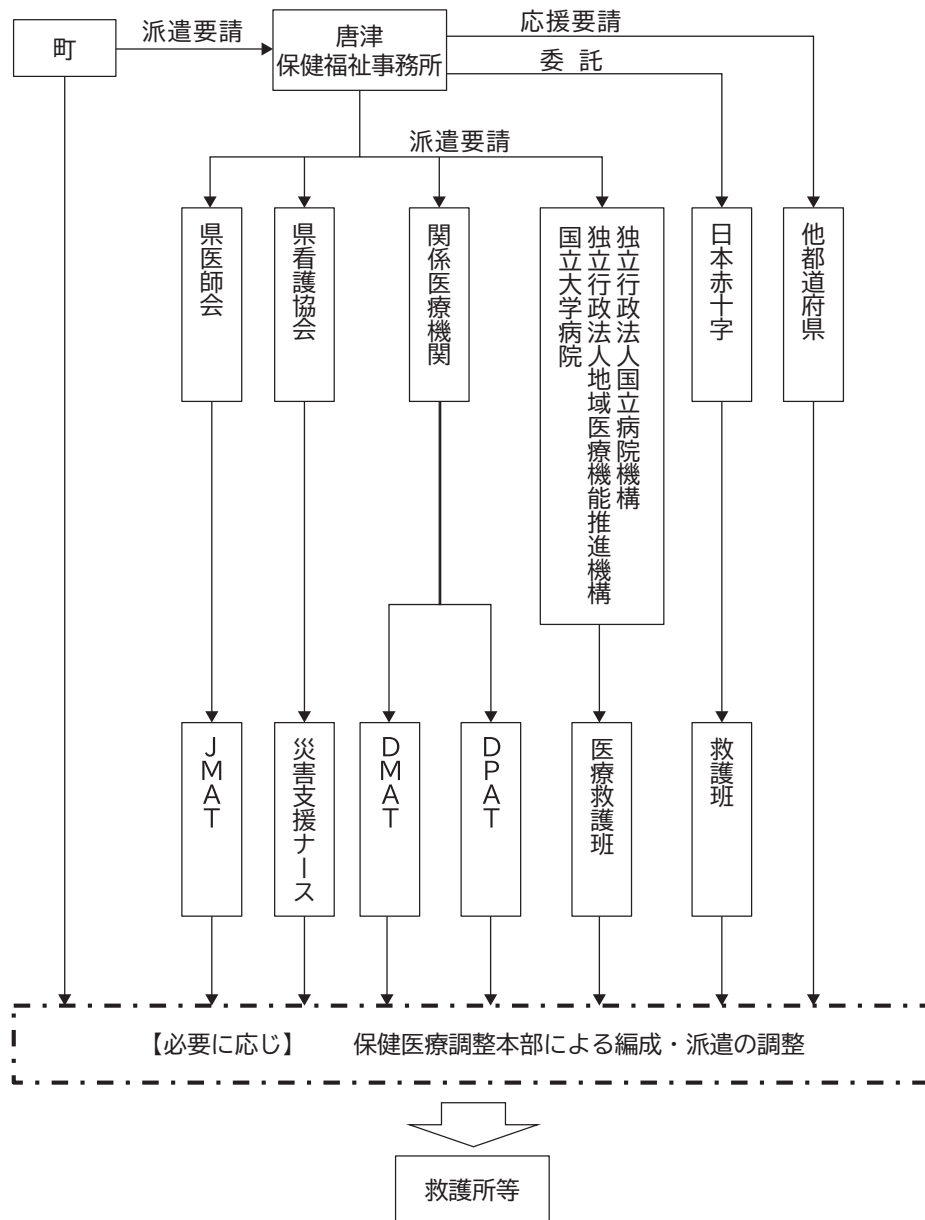


図 2-12 保健医療活動チームの要請系統

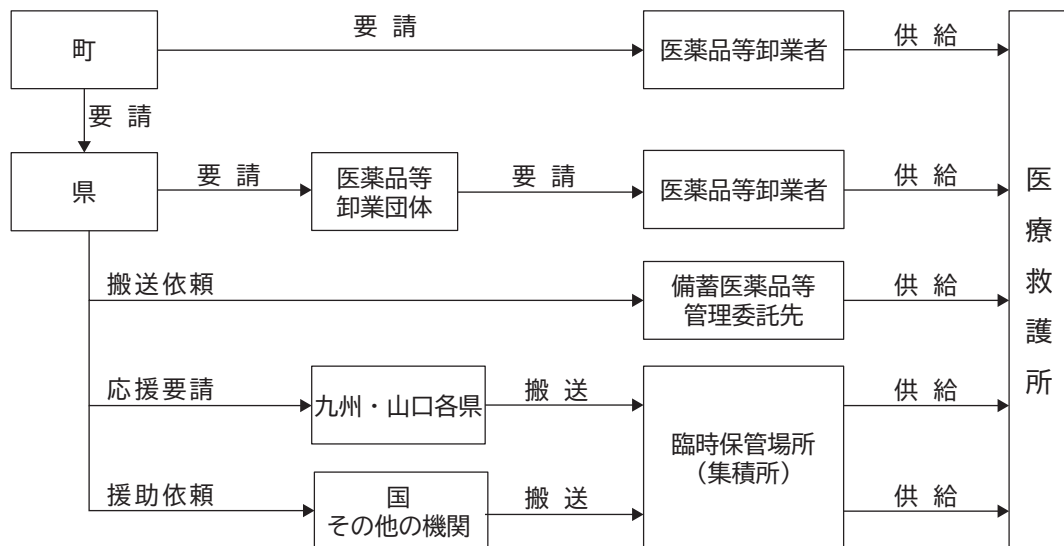


図 2-13 医薬品、医療資機材の要請系統

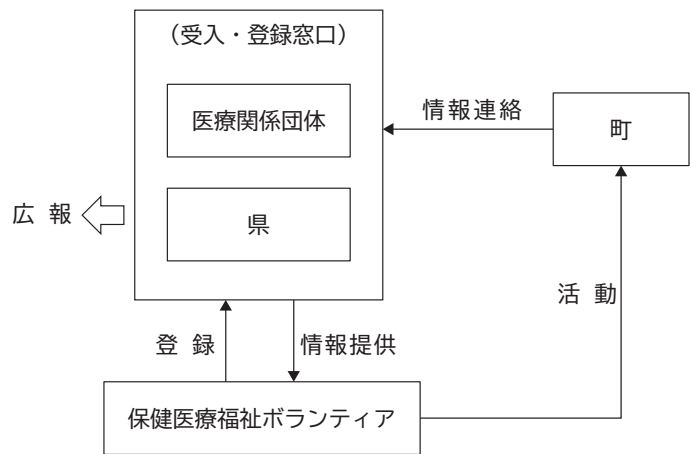


図 2-14 保健医療福祉ボランティアの連絡系統

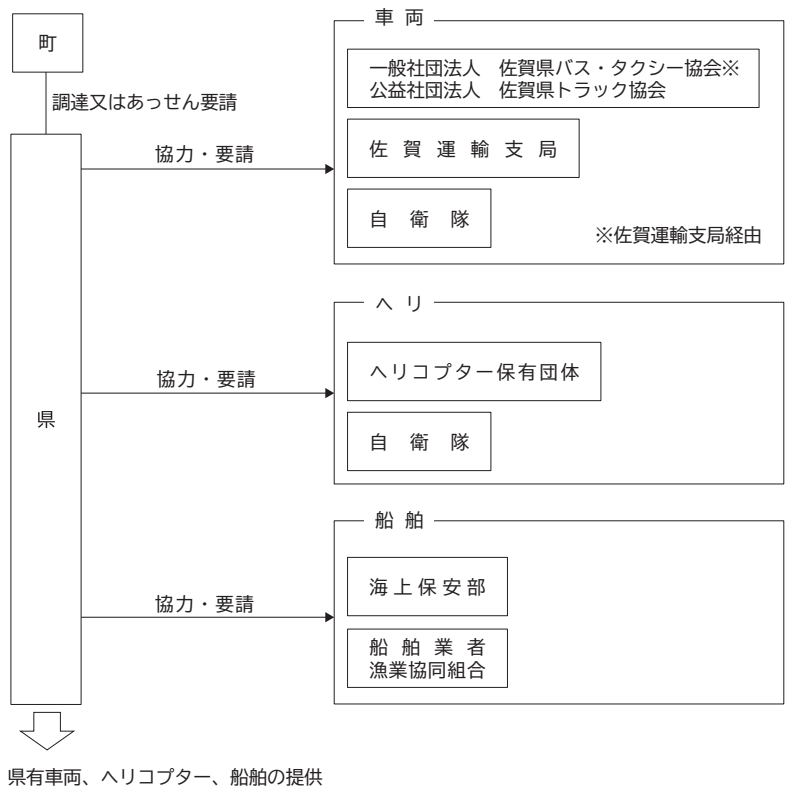


図 2-15 車両等輸送手段の要請系統

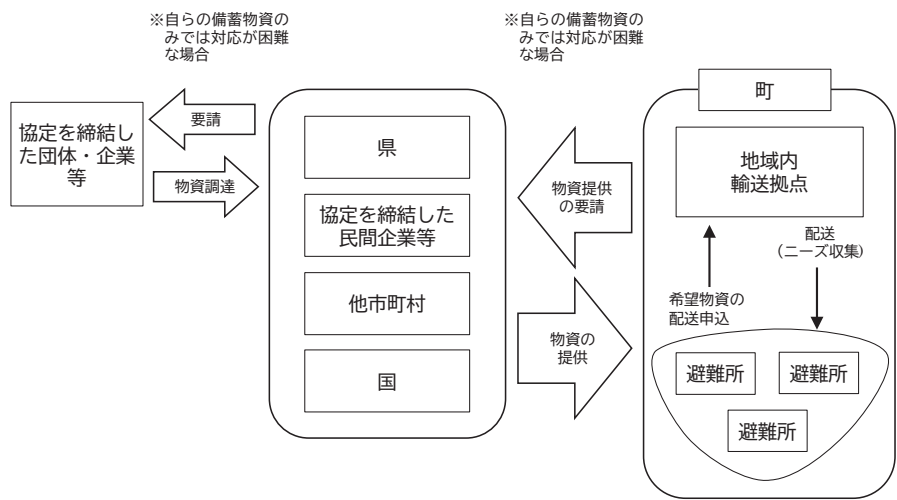


図 2-16 町が避難所への物資の配送を行う場合（非大規模災害時）

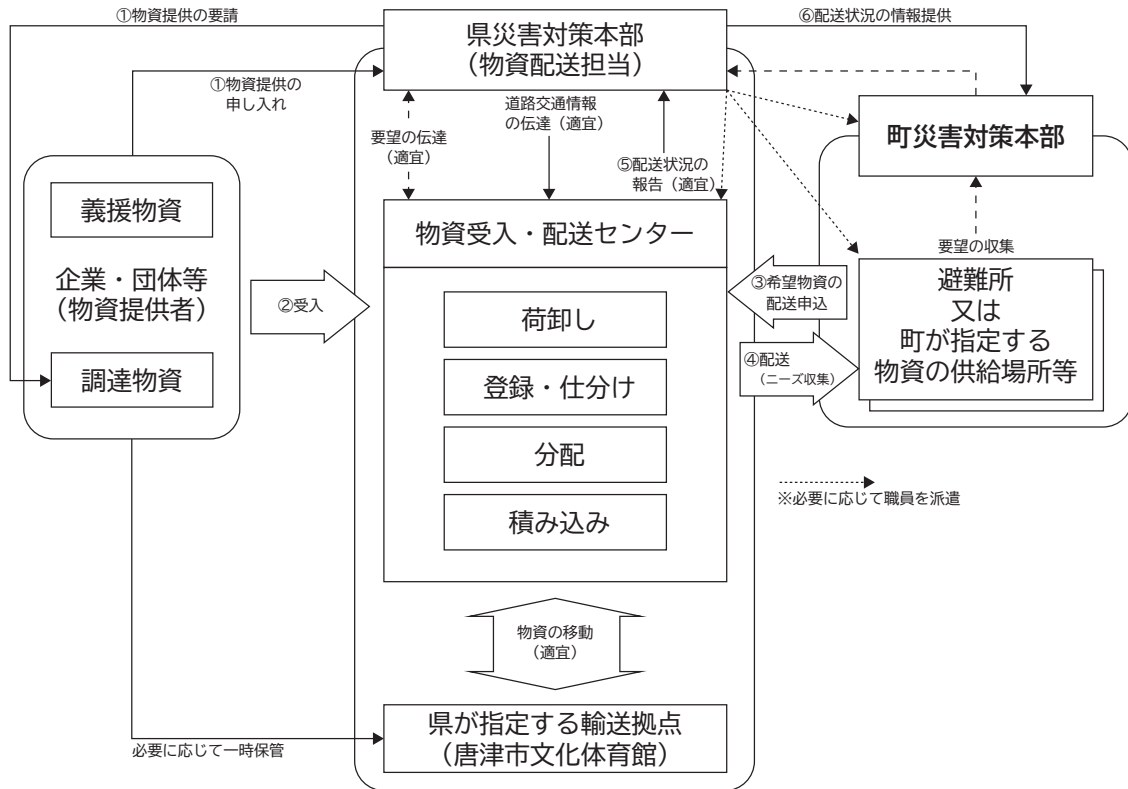


図 2-17 支援物資の受入・配送システム（大規模災害時）

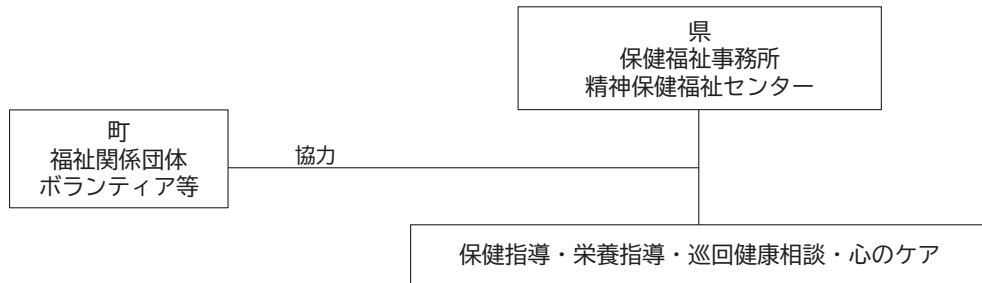


図 2-18 被災者等の健康管理のための連携・協力システム

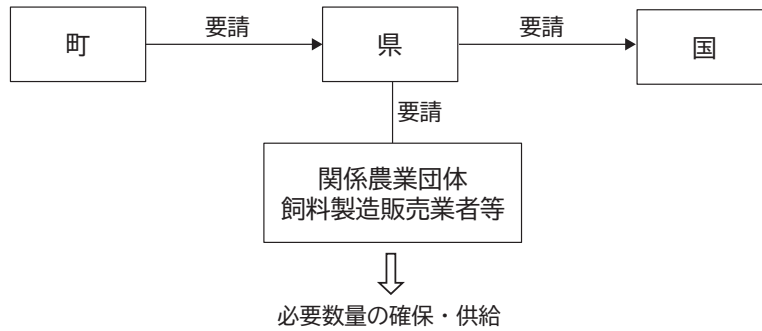


図 2-19 飼料の要請系統

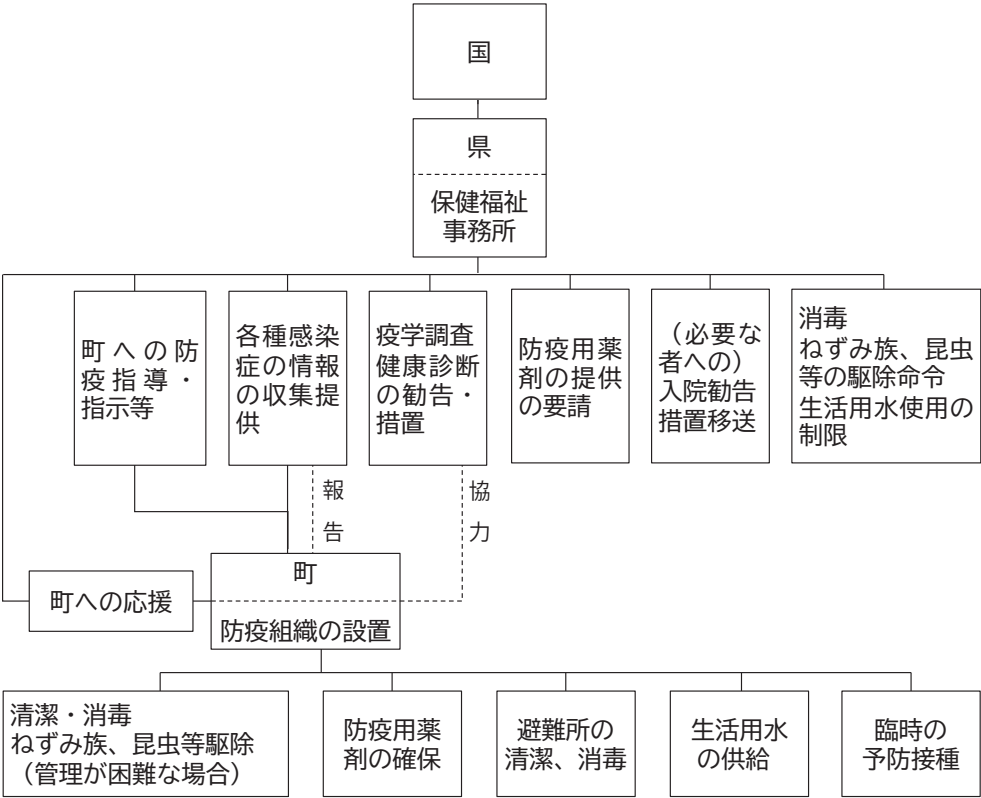


図 2-20 防疫活動の連携・協力系統

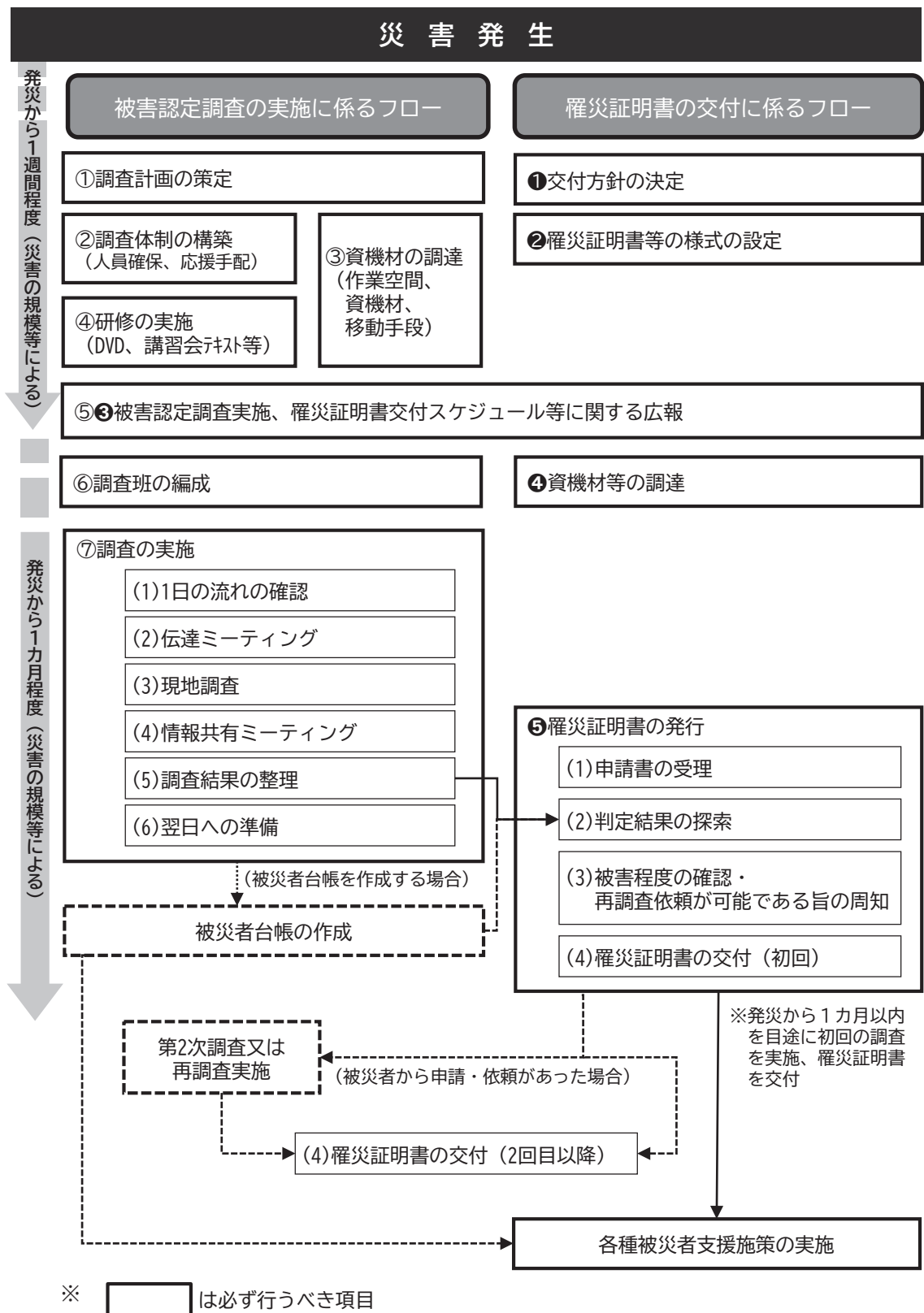


図 2-21 被害認定調査の流れ

第3章 風水害対策編 図

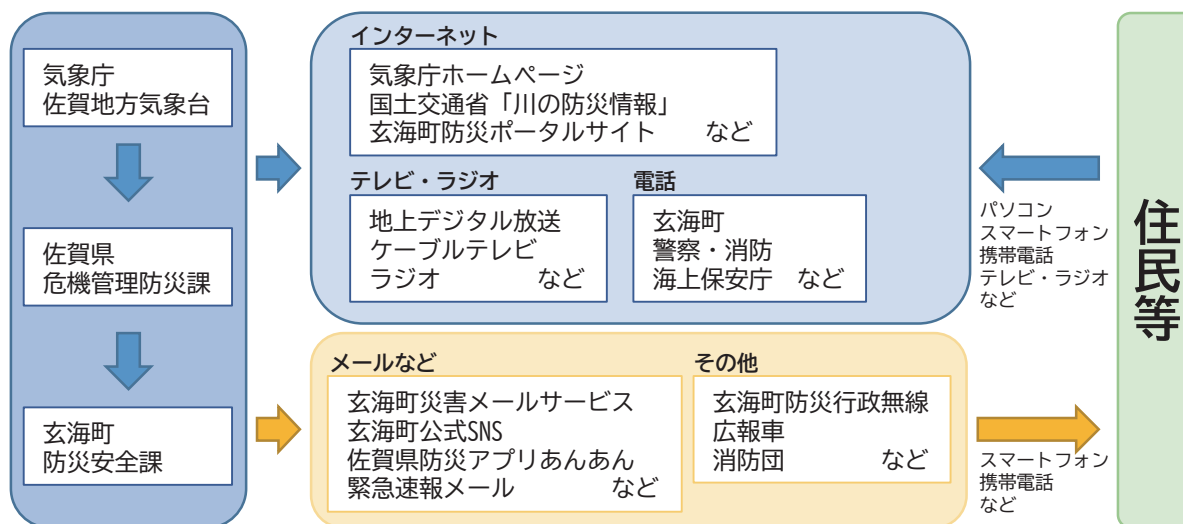
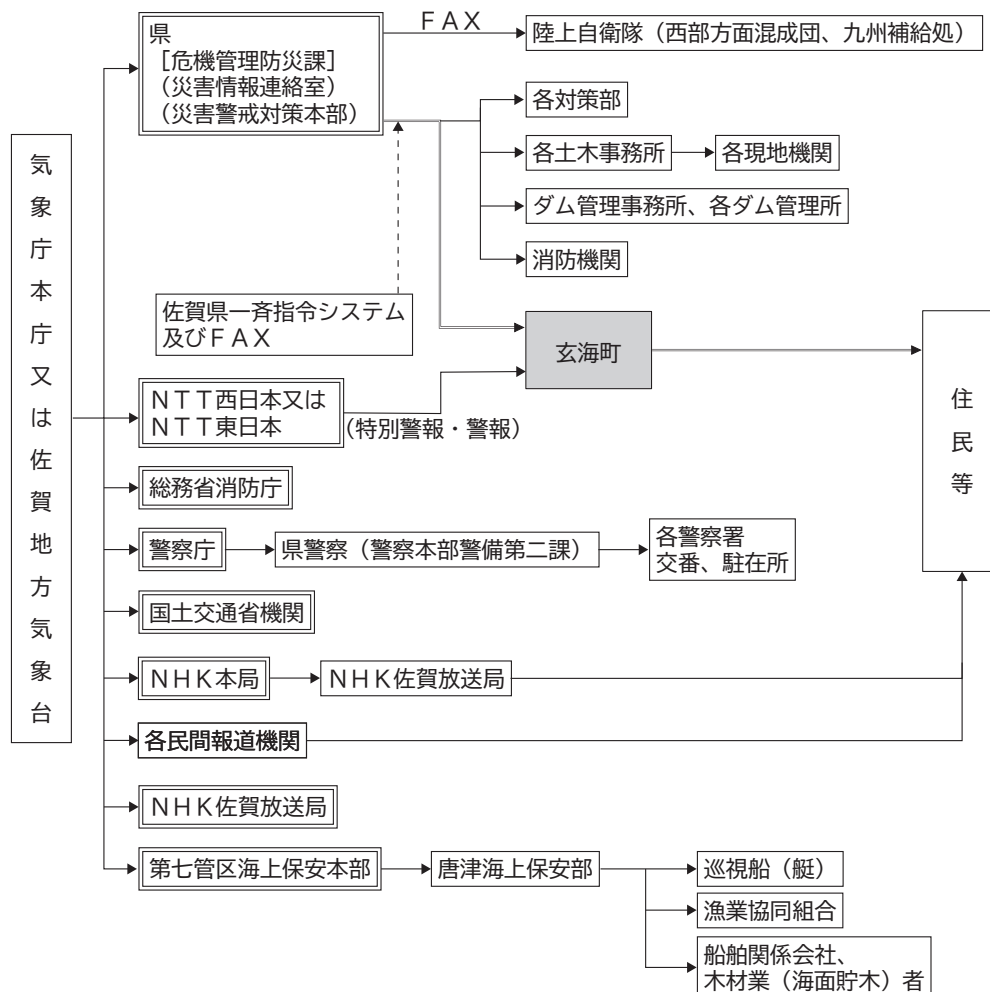


図 3-1 警報等の伝達系統



※1 () : 法定伝達先 (気象業務法施行令第8条第1号)

※2 (＝)：特別警報の通知もしくは周知の措置が義務づけられている伝達経路（気象業務法第15条第2、3項）

図 3-2 気象情報の伝達系統

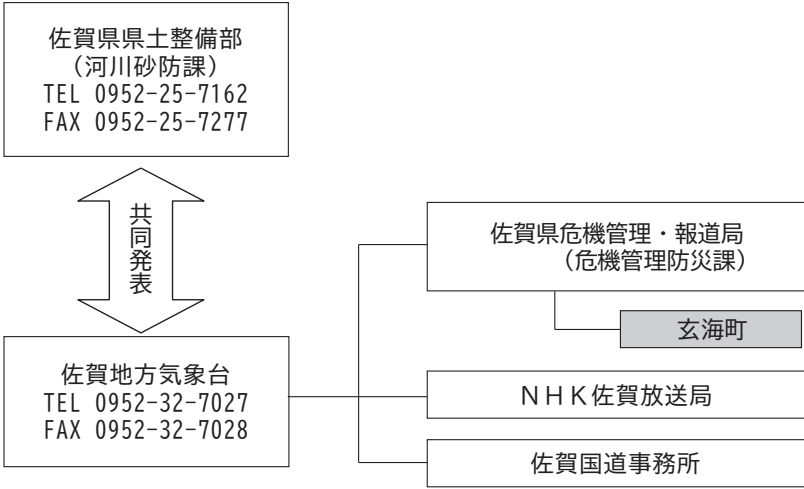


図 3-3 土砂災害警戒情報の伝達系統

第 4 章 地震災害対策編 図

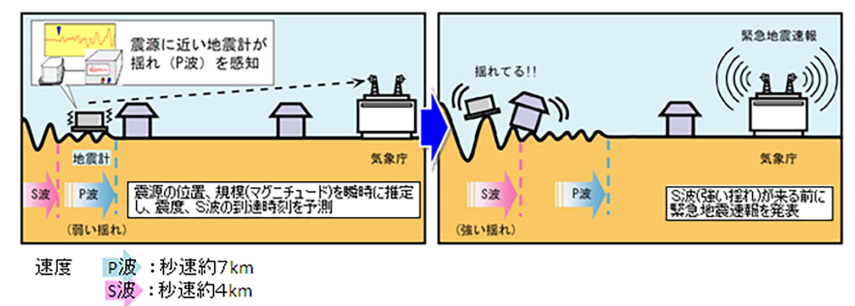


図 4-1 緊急地震速報のしくみ

(出典：気象庁ホームページ)



図 4-2 震度とゆれの状況

(出典：気象庁ホームページ)

第5章 津波災害対策編_図

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	巨大地震の場合の表現	数値での発表 (発表基準)		
大津波警報	巨大	10m 超 (10m<高さ)	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！  津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」(気象庁)の1シーン	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。  10mを超える津波により木造家屋が流失
		10m (5m<高さ≤10m)		
		5m (3m<高さ≤5m)		
津波警報	高い	3m (1m<高さ≤3m)	 津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」(気象庁)の1シーン	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。  写真：豊頃町提供(2003年)
津波注意報	(表記しない)	1m (20cm≤高さ≤1m)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。 津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。 	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。 

図 5-1 津波警報・注意報ととるべき行動

(出典：気象庁ホームページ)



図 5-2 津波避難行動

(出典：気象庁ホームページ)



図 5-3 大津波警報、津波警報の伝達系統

第 6 章 原子力災害対策編 図

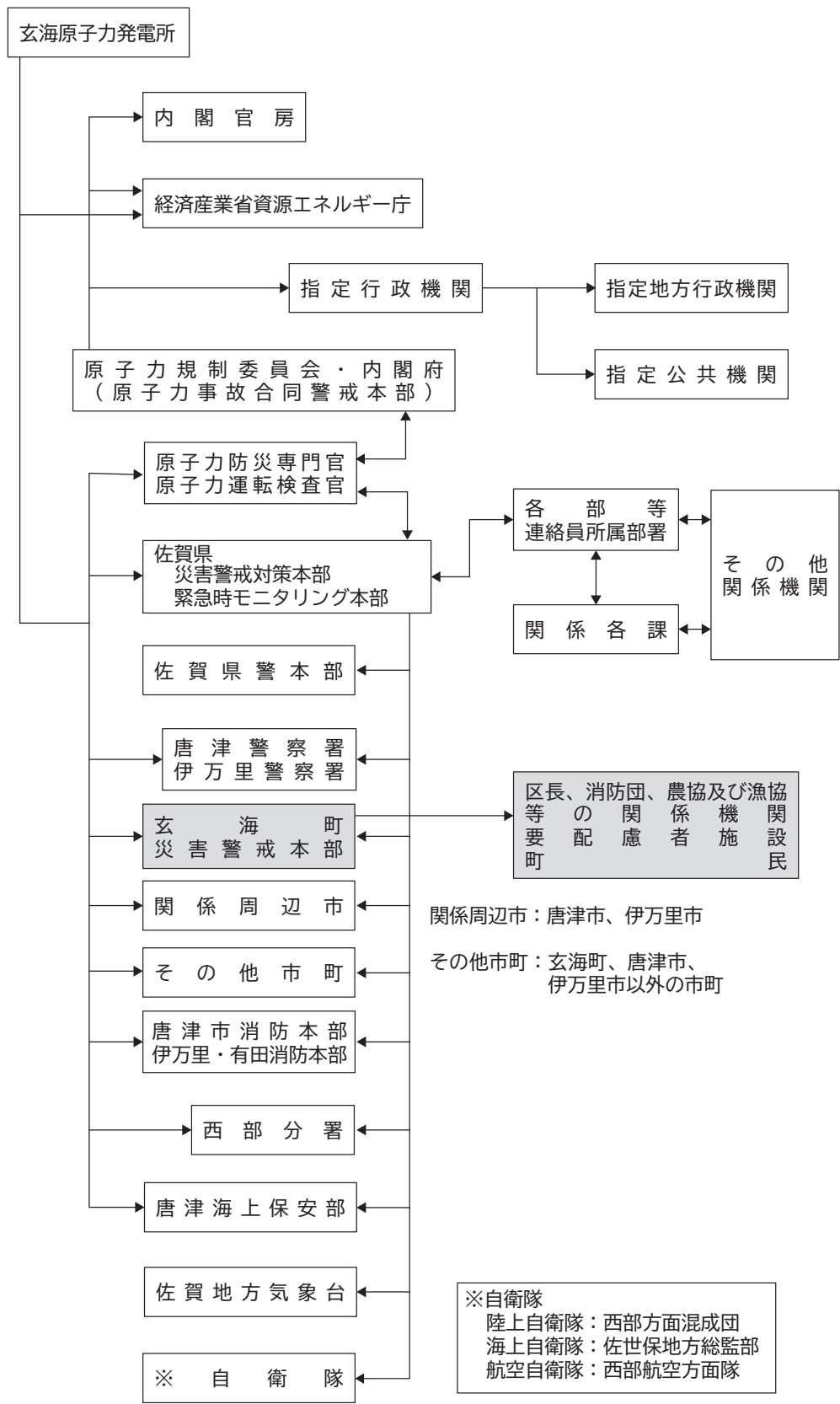


図 6-1 警戒事態での情報伝達系統

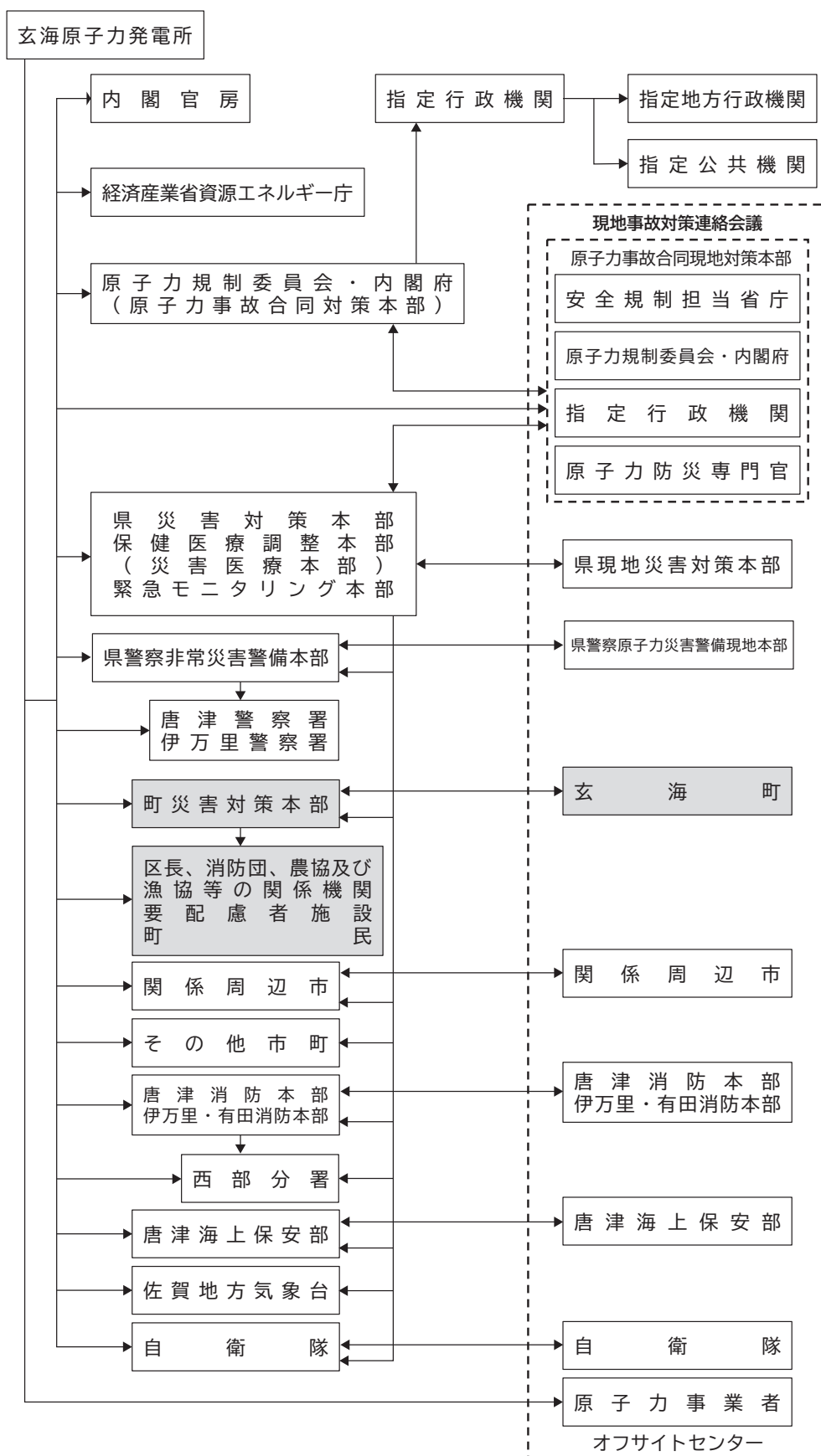
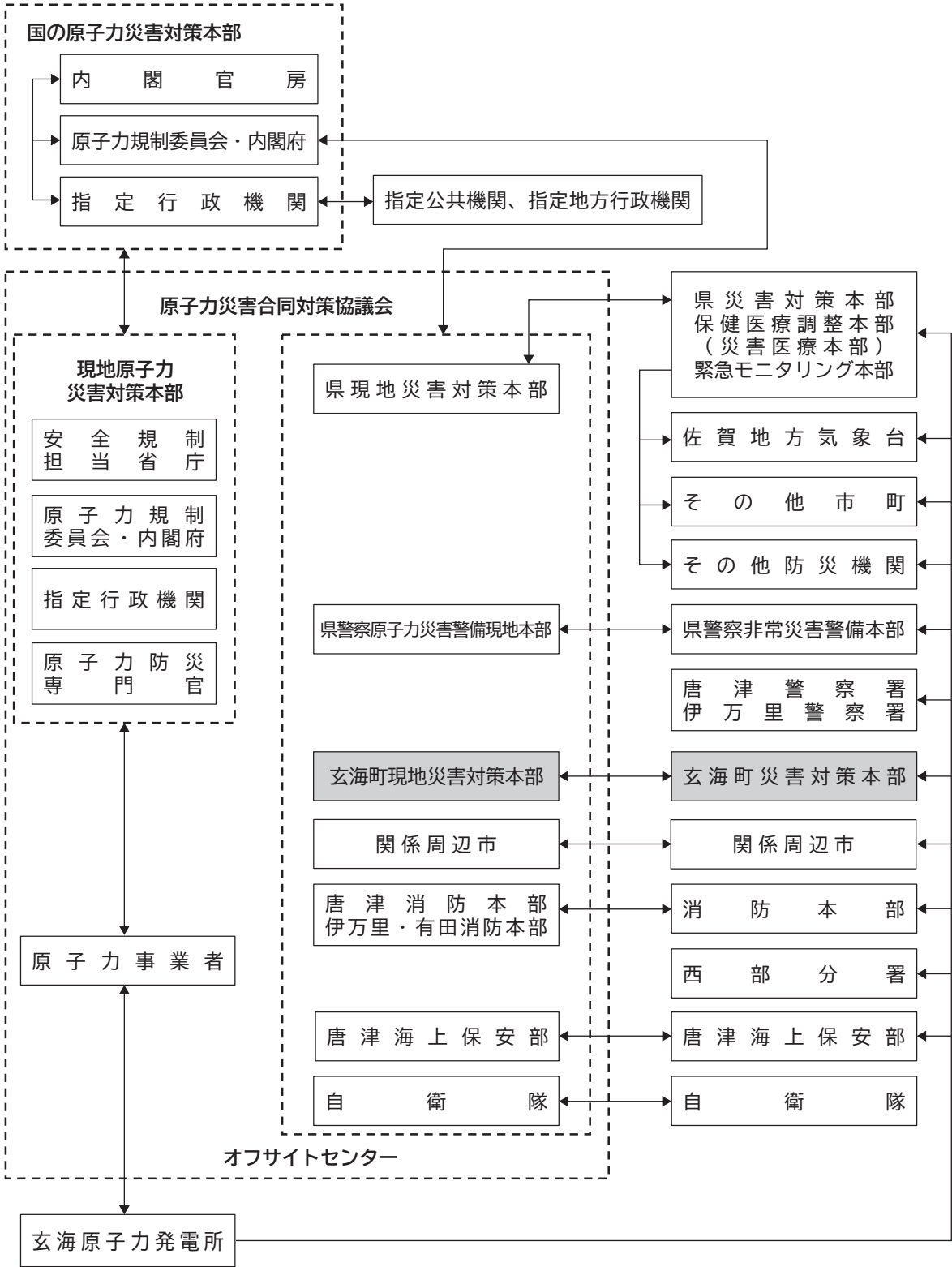


図 6-2 施設敷地緊急事態での情報伝達系統



(注) 緊急事態宣言発出前に県災害対策本部が設置された場合もこれに準じる。

図 6-3 緊急事態宣言発出後の情報伝達系統

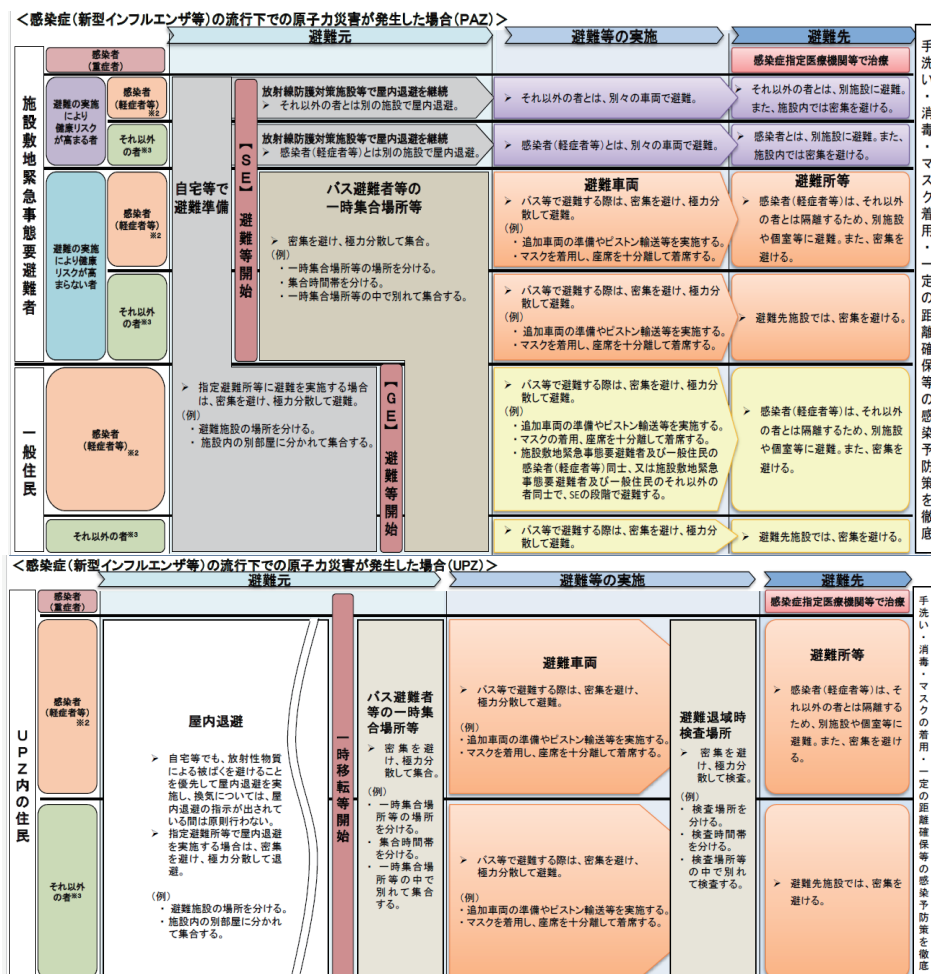


図 6-4 感染症等の流行下における防護措置



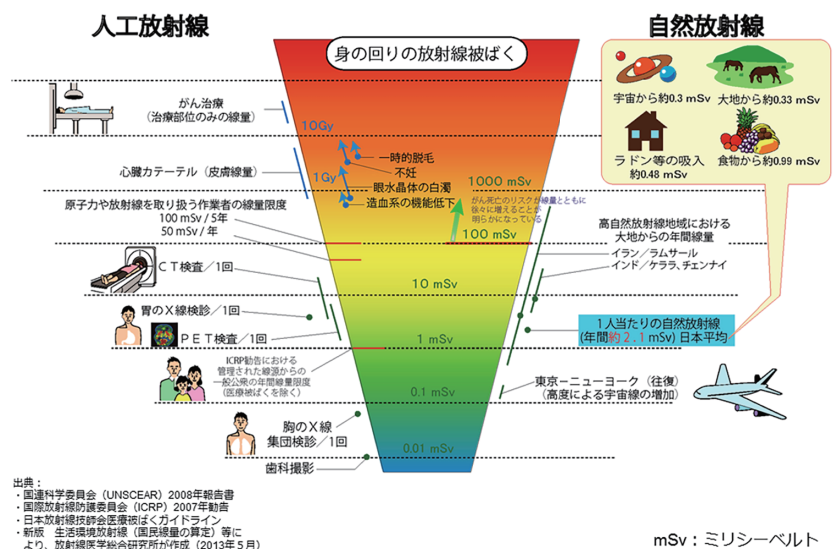


図 6-6 被ばく線量の比較 (早見表)

第7章 林野火災対策編_図

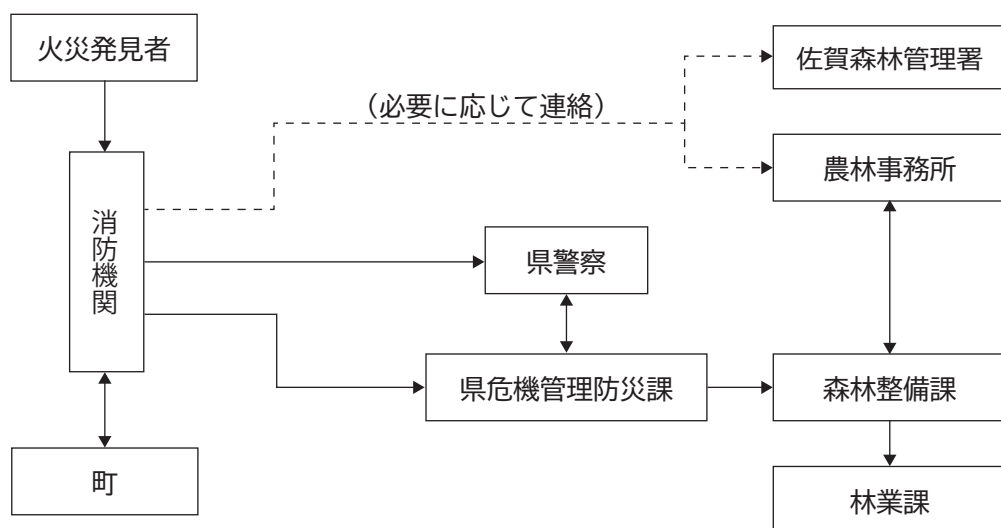


図 7-1 県への即報基準に該当する林野火災が発生した場合の情報連絡系統

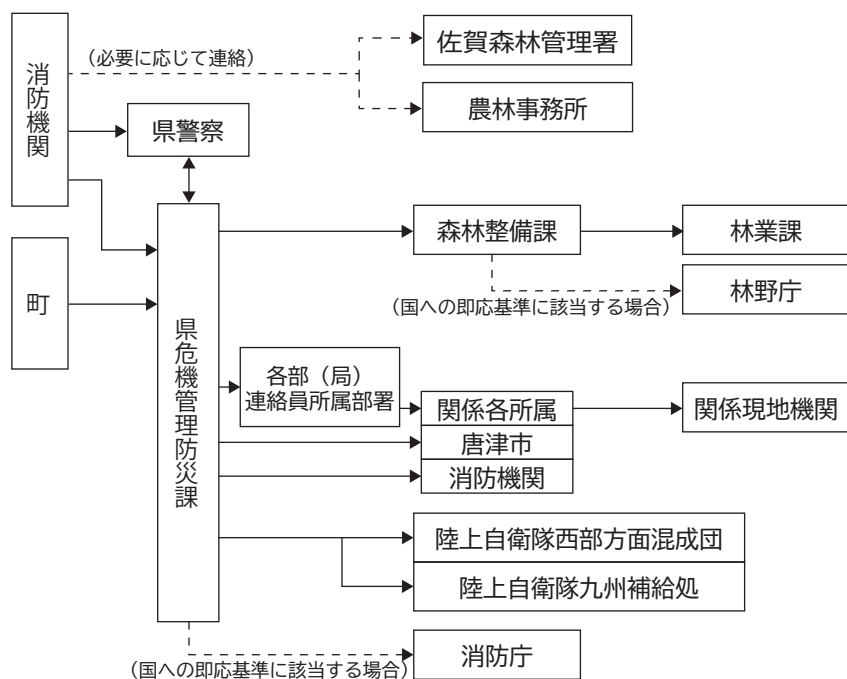


図 7-2 災害情報連絡室の設置以降の情報連絡系統

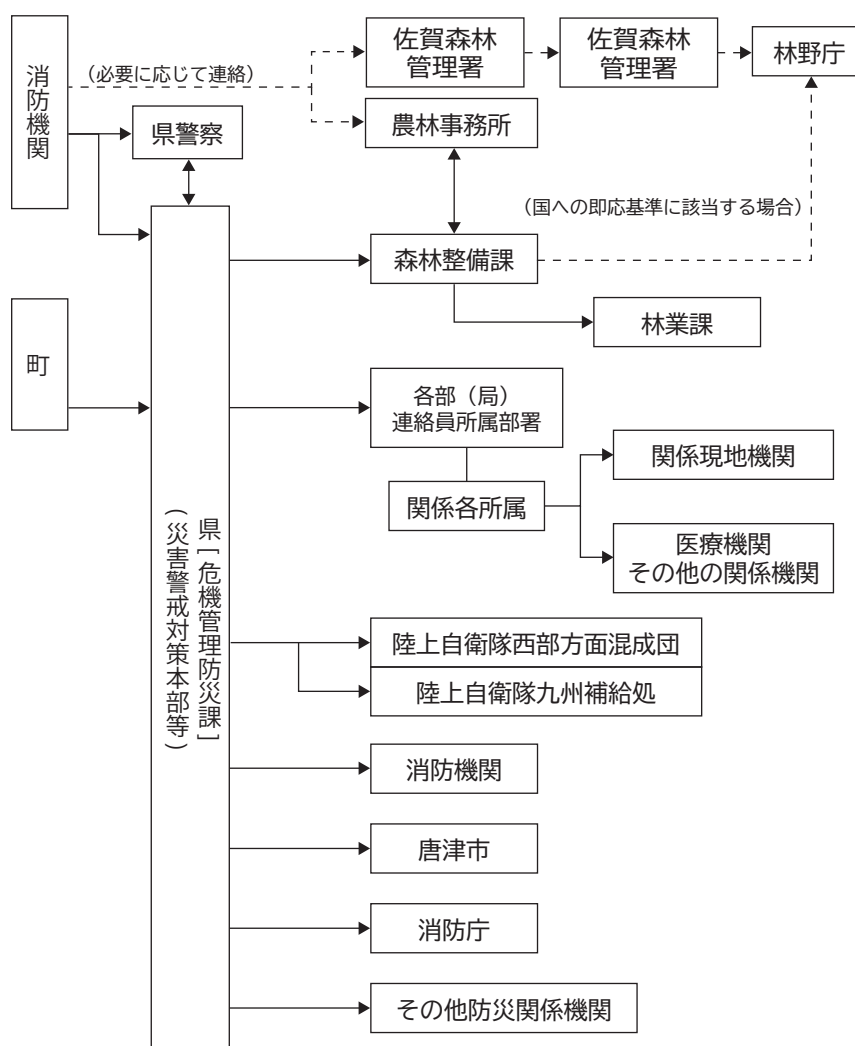


図 7-3 林野火災拡大時の情報連絡系統

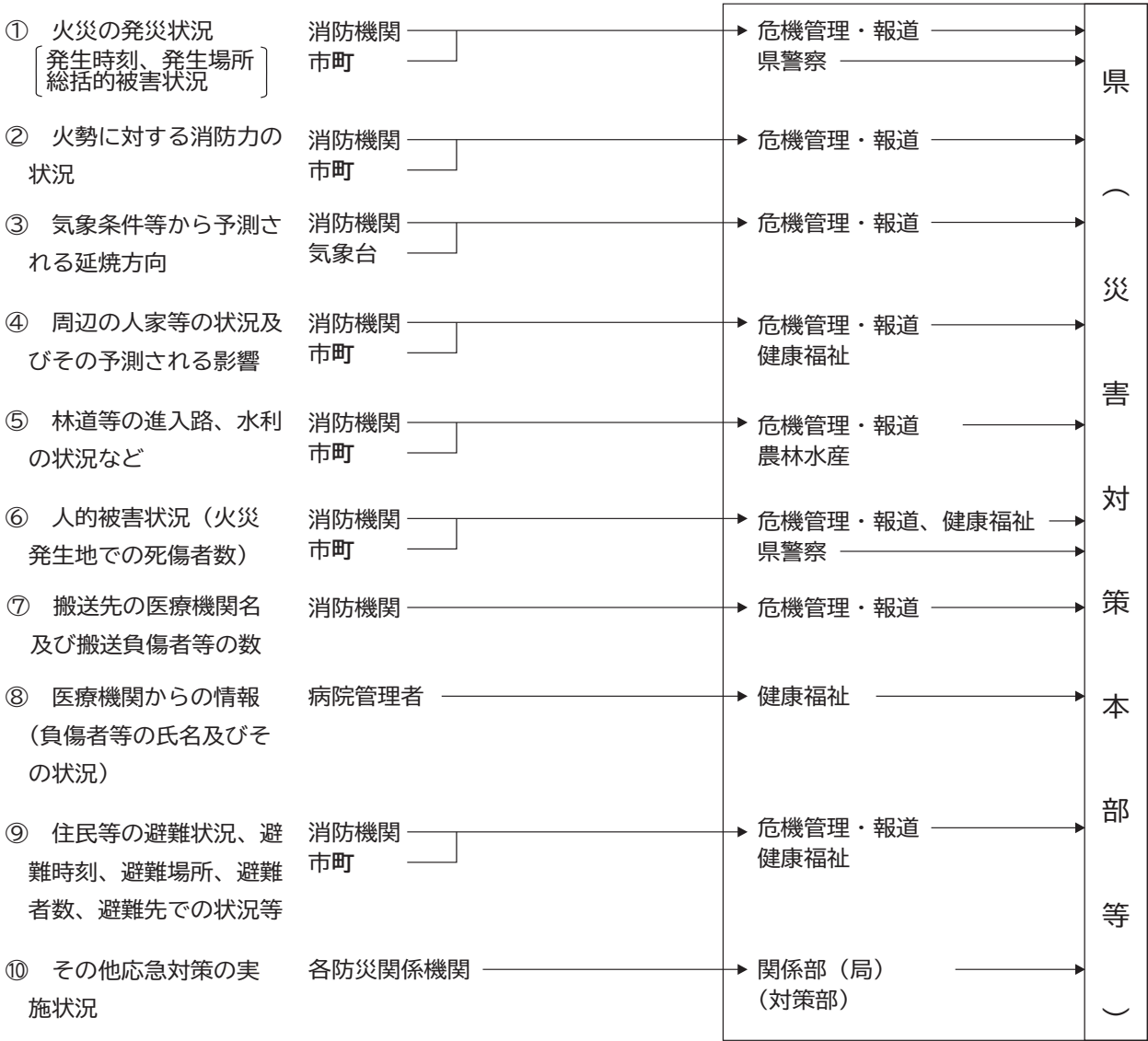


図 7-4 災害情報の収集・連絡系統

第8章 大規模な火事災害対策編 図

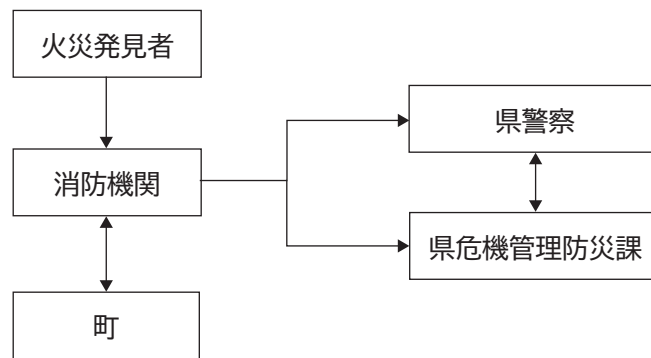


図 8-1 県への即報基準に該当する火災が発生した場合の情報連絡系統

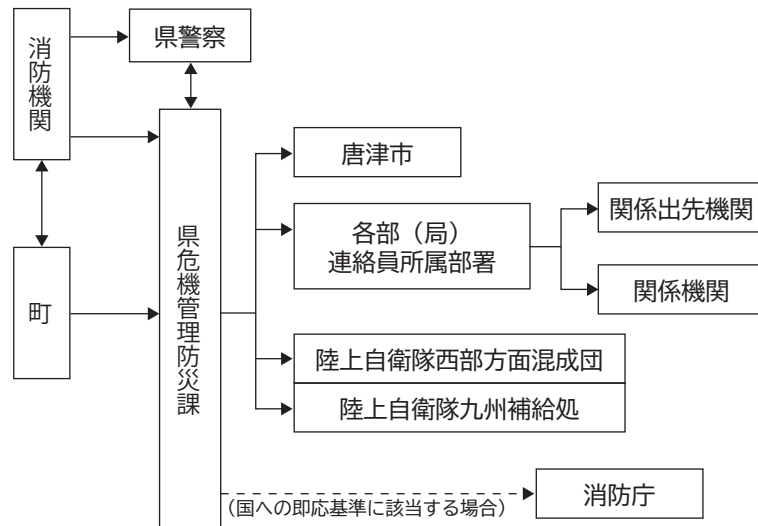


図 8-2 災害情報連絡室の設置以降の情報連絡系統

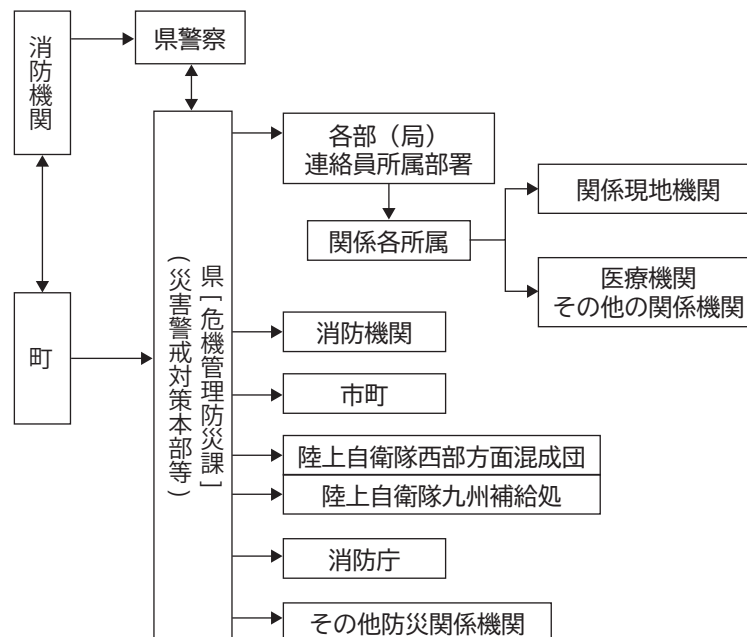


図 8-3 災害警戒本部又は災害対策本部を設置した場合の情報連絡系統

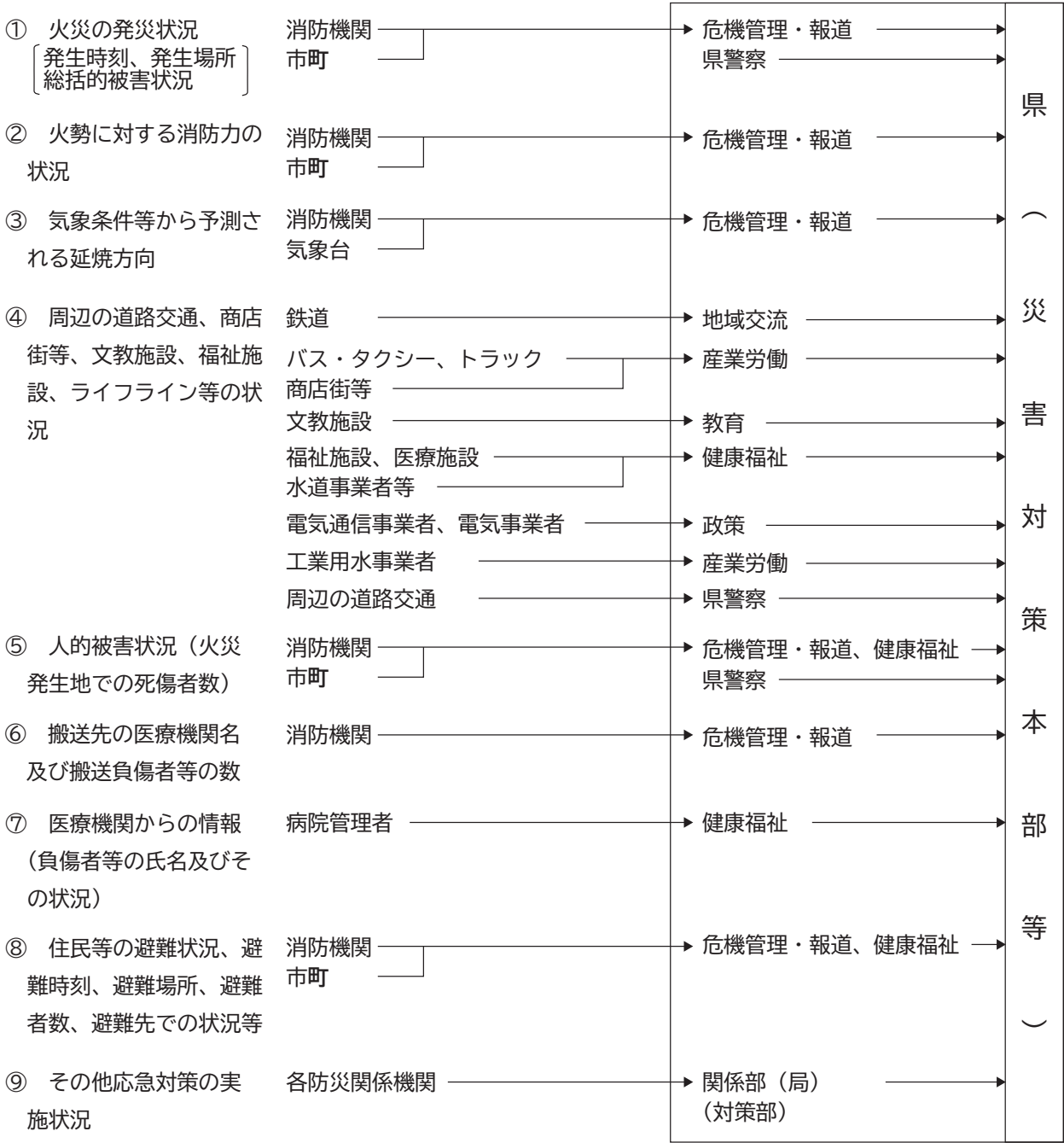


図 8-4 災害情報の収集・連絡系統